

## 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の 施設整備について

I 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会における施設整備計画について・・・	1
II 競技開催予定施設(スポーツ施設)の現況と課題	5
III 施設整備計画の対象とする施設及び計画の内容	21
IV 長野運動公園 総合体育館	23
V 長野運動公園 駐車場	27
VI 長野Uスタジアム(フットボール場)	31
VII 南長野運動公園 駐車場	45

令和3年11月25日(木)

長野市文化スポーツ振興部スポーツ課 国民スポーツ大会準備室

## I 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の施設整備計画について

### 1 国民スポーツ大会の開催について

国民スポーツ大会(旧名称：国民体育大会)は、都道府県対抗、各都道府県持ち回りで毎年開催されている国内最大のスポーツの祭典です。「スポーツ基本法」に基づく重要行事の一つとして、日本スポーツ協会・文部科学省・開催地都道府県の三者共催で行われ、昭和 63(1988)年の京都大会から二巡目に入っています。

平成 29(2017)年 3 月、長野県が国民スポーツ大会の招致を決め、同年 7 月日本スポーツ協会から内々定を受け、令和 10(2028)年の第 82 回国民スポーツ大会開催が事実上決定しました。

長野県における国民スポーツ大会の開催は、昭和 53(1978)年の「やまびこ国体」以来 50 年ぶり<sup>※</sup>の開催となり、成功のためには関係機関・団体、県並びに市町村が一丸となって開催準備に取り組む必要があります。

国民スポーツ大会の開催にあたり、本市は県内でも有数の規模のスポーツ施設や宿泊施設を数多く有しており、これらの施設を有効に活用することで開催県の中心的な役割を果たし、スポーツ人口拡大・競技力向上などのスポーツ振興だけでなく、全国から本市を訪れる選手・役員・観客等による経済波及効果、市民による歓迎や観光PRによる全国への魅力発信などにより、本市が基本施策に掲げる“スポーツを軸としたまちづくり”を推進し、地域の活性化につなげていきたいと考えています。

※：冬季大会の開催を除く

### 2 第 82 回国民スポーツ大会における長野市の実施競技

#### (1) 競技及び施設選定の基本方針

本市は第 82 回国民スポーツ大会の実施競技及び施設を検討するにあたり、以下のとおり「競技及び施設選定の基本方針」を定め(平成 30(2018)年 7 月 2 日決定)、施設整備を行う可能性を見据えた上で選定を行ってきました。

- 1 本市における大規模な大会開催実績が豊富にあり、競技団体と市の連携が十分にとれること
- 2 競技が市民に広く親しまれており、国体開催のレガシーが残ることが期待できること
- 3 競技の開催要件を満たす施設があること。また、開催を機に利便性向上や長寿命化等の整備が見込め、本市のスポーツ振興に資する施設として残ること

#### (2) 実施内定競技

前項の「競技及び施設選定の基本方針」に基づき、第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会(以下「長野県準備委員会」という。)及び競技団体と協議を行い、令和 3(2021)年 11 月現在、本市における次の競技開催が内定しています。

■ 本大会実施内定競技

競技名／種目名		種別	実施予定会場	長野県準備委員会 における内定	備考
水泳	競泳 飛込 水球 AS※1	全種別 〔 成年男女 少年男女 〕	長野運動公園総合市民プール (アクアウィング)	第一次選定 (2018.11.9)	会期前大会 (9月)で実施
バスケットボール		全種別 〔 成年男女 少年男女 〕	真島総合スポーツアリーナ (ホワイトリング) 長野運動公園総合体育館 南長野運動公園体育館	第一次選定 (2018.11.9)	
高等学校野球		硬式	長野オリンピックスタジアム 長野運動公園県営野球場	第一次選定 (2018.11.9)	
サッカー		成年女子※2	南長野運動公園総合球技場 (長野Jスタジアム) 他	第二次選定 (2019.7.31)	
ボウリング		全種別 〔 成年男女 少年男女 〕	ヤングファラオ	第二次選定 (2019.7.31)	民間施設

※1 アーティスティックスイミング(旧シンクロナイズドスイミング)

※2 令和4(2022)年度以降の実施種別による

■ 冬季大会実施内定競技

競技名／種目名		種別	実施予定会場	長野県準備委員会 における内定	備考
スピードスケート		全種別	長野市オリンピック記念アリーナ (エムウェーブ)	第四次選定 (2020.11.18)	
フィギュアスケート		全種別	長野市若里多目的スポーツアリーナ (ビッグハット)	第四次選定 (2020.11.18)	

(3) 実施検討競技

長野県準備委員会及び競技団体から開催の依頼があり、令和3(2021)年11月現在、本市が開催の検討を行っている競技は以下のとおりです。

なお、既に開催の依頼を断った競技についてはこれに含みません。

競技名	種目名	種別	実施予定会場
体操	競技	全種別 (成年男女・少年男女)	未定 (競技団体はホワイトリングでの開催を希望)
ライフル射撃	CP	成年男子	長野県警察学校

#### (4) 全国障害者スポーツ大会について

全国障害者スポーツ大会は、障がい者が競技を通してスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的としたスポーツの祭典です。大会は国民スポーツ大会の後、同じ開催県で3日間の会期で開催されます。



国民スポーツ大会の競技施設で行われるため、施設整備は原則不要ですが、国民スポーツ大会の施設整備にあたりユニバーサルデザインに配慮する必要があります。

#### ■ 本市での実施内定競技

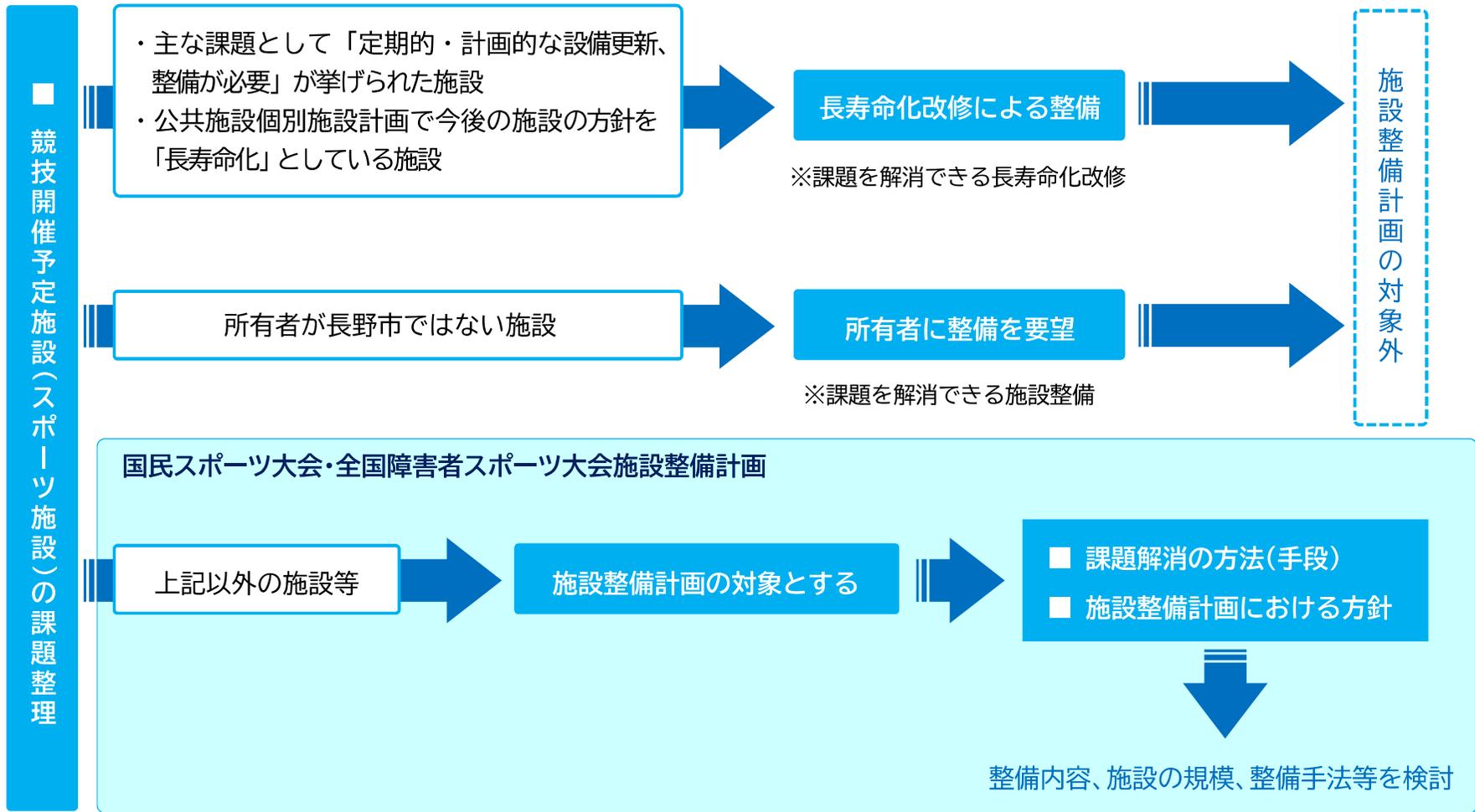
競技名・種目名		実施予定会場	参加人数*	会期等
水 泳	知的障害 身体障害	アクアウイング	約 310 人	・会期 3日間
バスケットボール（知的障害）		長野運動公園又は ホワイトリング	約 170 人	・会期 2日間 ・競技用 2コート
車いすバスケットボール		長野運動公園又は ホワイトリング	約 85 人	・会期 2日間 ・競技用 1コート、アップ用 1コート
ボウリング（知的障害）		ヤングファラオ	約 170 人	・会期 2日間

### 3 国民スポーツ大会に向けた施設整備の方針

本市における実施競技が概ね内定したことから、国民スポーツ大会開催に向けた施設整備を検討するにあたり「競技及び施設選定の基本方針」で定めた「開催を機に利便性向上や長寿命化等の整備が見込め、本市のスポーツ振興に資する施設として残ること」に基づき、本市の財政状況を踏まえつつ、以下のとおり施設整備方針を定め、施設整備計画を策定していくこととしました(令和2(2020)年7月1日決定)。

- ・国民スポーツ大会の開催に必要な施設整備であること
- ・本市のスポーツ施設が抱える課題を解消できる施設整備であること
- ・国民スポーツ大会終了後も市民に有効に活用される施設整備であること
- ・国民スポーツ大会の施設整備の対象となる補助、助成制度を最大限活用する施設整備であること

4 整備計画の対象とする施設



## II 競技開催予定施設(スポーツ施設)の現況と課題

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会の競技開催予定施設の現状及び課題について、施設ごとに整理し、どのような整備が必要か検討を行います。

なお、冬季大会の競技開催予定施設であるエムウェーブとビッグハットは、冬季のアイスリンク設置期間以外はコンベンション施設として利用されているため、検討の対象外とします。また、ボウリング競技開催予定施設であるヤングファラオも、民間施設であるため検討の対象外とします。

### 1 長野運動公園

#### 総合体育館

##### (1) 実施予定競技

実施予定競技	種目/種別	備考
バスケットボール	未定※	
(水泳)	(選手待機場所等で使用)	会期前大会(9月)で使用

※ 成年男子、成年女子、少年男子、少年女子のいずれか

第 27 回全国障害者スポーツ大会での使用 ○：バスケットボール(知的障害)又は車いすバスケットボール

##### (2) 施設の概要

・ 工期	昭和 51(1976)年 12 月 22 日～昭和 53(1978)年 8 月 20 日		
・ 構造	〈主 体 育 館〉 鉄筋コンクリート造 3 階 〈補助体育館〉 鉄骨、鉄筋コンクリート造 2 階 カラー鉄板折板葺		
・ 面積		建築面積(m <sup>2</sup> )	延面積(m <sup>2</sup> )
	〈主 体 育 館〉	3,998.27	6,526.81
	〈補助体育館〉	1,069.34	2,135.66
	計	5,037.61	8,662.47
・ 施設内容	〈主 体 育 館〉	メインアリーナ 1,925.59 m <sup>2</sup> バスケットボール 2 面 バレーボール 4 面 バドミントン 12 面 卓球 24 面 観客席 固定席 1,200 人/立見 500 人/車イス 24 人 会議室 3、更衣室 2、卓球場(3階)、事務室、救護室	
	〈補助体育館〉	1 階 剣道場 363 m <sup>2</sup> 柔道場 465 m <sup>2</sup> (208 畳敷) 2 階 サブアリーナ 886.54 m <sup>2</sup> バスケットボール 1 面 バレーボール 2 面	

利用状況	年 度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
	利用人数	135,639 人	142,949 人	136,803 人	135,403 人	130,841 人

※ R1(2019)年度以降は、令和元年東日本台風と新型コロナウイルス感染症の影響を受けているため掲載していない



主体体育館 メインアリーナ



補助体育館2階 サブアリーナ



補助体育館1階 剣道場



補助体育館1階 柔道場

### (3) 現況と課題

- ・ 平日は市民のスポーツ活動、休日は学生や一般の大会などに利用され、利用率が非常に高くなっています。
- ・ 令和元年東日本台風の際は、指定避難所として災害発生当日(10月12日)から多くの避難者を受け入れ、避難所の整理・統合時には統合避難所として使用されました(12月20日閉鎖)。
- ・ 竣工後40年以上が経過しており施設全体の老朽化が激しくなっています。また、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催時には竣工後50年を迎えることとなります。
- ・ 冷房設備が未設置であることや諸設備の老朽化等により大会(試合)の開催が敬遠されることが多くなっています。このためホワイトリングに大会(試合)が集中し、ホワイトリングの予約がとれない場合、本市に経済効果をもたらす大会(試合)が他の自治体に流れるケースがあります。
- ・ 利用者の動線やトイレ等のバリアフリー化が現在の基準から見ると不足しています。

- 竣工後43年経過による施設の老朽化
- 大会(試合)の開催が敬遠され、ホワイトリングに大会(試合)の開催希望が集中
- バリアフリー化不足により全国障害者スポーツ大会の開催に支障
- 指定避難所としての機能が不足
  - 高齢者・障害者対応(バリアフリー新法不適合)、夏季の対応(空調設備の不備)

## 総合市民プール（アクアウィング）

### (1) 実施予定競技

実施予定競技	種目	種別	備考
水泳	競泳	成年男子／女子、少年男子／女子	会期前大会(9月) で実施の予定
	飛込	成年男子／女子、少年男子／女子	
	水球	少年男子	
	A S	少年女子	

第27回全国障害者スポーツ大会での使用

○：水泳（知的障害／身体障害）

### (2) 施設の概要

- ・ 完 成 平成11(1999)年1月29日 ※プールとしての改修完成日
- ・ 構造、面積 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造）  
建築面積 10,200.870 m<sup>2</sup>
- ・ 施設内容
  - メインプール 50m×25m 水深 浅部0～2.0m、深部0～3.0m  
鉄筋コンクリート造 プール用タイル仕上
  - 長水路50m競泳プール 国際公認 8コース 両端余裕2.5m
  - 短水路25m競泳プール 公 認 16コース //
  - 国際シンクロプール、国際水球プール
  - ダイビングプール 20m×25m 水深 3.5m～5m
  - 国際公認飛込プール
  - サブプール 25m×14m 水深 1.2m～1.4m  
鉄筋コンクリート造 プール用タイル仕上
  - 観客席 約2,000席（内車イス席10席）
  - 更衣室、トレーニングジム、公園管理事務室、会議室、機械室等

#### ・ 利用状況

年 度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
利用人数	125,019人	130,467人	141,237人	140,031人	135,655人

※ R1(2019)年度以降は、令和元年東日本台風と新型コロナウイルス感染症の影響を受けているため掲載していない



アクアウィング外観



メインプール(手前)、ダイビングプール(奥)

### (3) 現況と課題

- ・ プールだけでなく2階に設置されたトレーニングジムや会議室を使用しての各種スポーツ教室など、多くの市民に利用されています。また、県内唯一の本格的な屋内水泳競技施設として、全日本クラスを含めた競技大会が開催されています。
- ・ 竣工後20年以上が経過しており、設備の老朽化が目立つようになっています(国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催時には竣工後30年経過)。ろ過機など定期的に更新が必要なものはもちろん、可動床や空調設備等、競技会の開催に必要な設備も老朽化・旧式化しているものがあります。

■ 定期的・計画的な設備更新、整備が必要

→ 怠ると将来的に大規模大会の開催が困難になる

## 県営野球場

### (1) 実施予定競技

実施予定競技／種目	種別	備考
高等学校野球	硬式	特別競技

第27回全国障害者スポーツ大会での使用

なし

### (2) 施設の概要

- ・ 竣工 昭和41(1966)年10月
- ・ グラウンド 両翼98m センター122m 内野 シンダー舗装 外野 天然芝
- ・ スタンド 内野 鉄筋コンクリート造2階 収容人数10,000人  
外野 芝生席 収容人数6,000人 スコアボード バックスクリーン
- ・ 照明設備 ナイター照明6基 高さ22m 昭和53(1978)年6月設置  
照度 バッテリー間700ルクス 内野500ルクス 外野330ルクス
- ・ 利用状況

年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
利用人数	37,771人	41,464人	55,991人	36,569人	41,597人

※ R1(2019)年度以降は、令和元年東日本台風と新型コロナウイルス感染症の影響を受けているため掲載していない



県営野球場 外観



県営野球場 グラウンド

### (3) 現況と課題

- ・ 夜間や休日を中心に利用され、少年野球から入場料を徴収する高校野球、BCL※の試合まで、幅広い層に利用されています。 ※BCL：プロ野球独立リーグ ベースボール・チャレンジリーグ
- ・ 築後から 55 年を経過しており、施設全体の老朽化が激しくなっています。国民スポーツ大会開催時には築後 62 年を迎えることとなります。
- ・ 建物や設備は老朽化が進み常に不具合箇所が発生しているような状態ですが、一方でグラウンドの質の良さには定評があります。
- ・ 利用者の動線やトイレ等のバリアフリー化が現在の基準からすると不足しています。
- ・ 防球ネットが設置されておらず、打球による駐車車両への被害が多数発生しています。

- 建物・設備の老朽化が激しく、補修や更新が困難
- 観客を含めた障害者対応に支障
  - 高校野球(硬式)は国民スポーツ大会屈指の人気種目であり、多数の観客来場が予想される
- 飛球対策不足から施設周辺に人的・物的被害が発生する恐れ

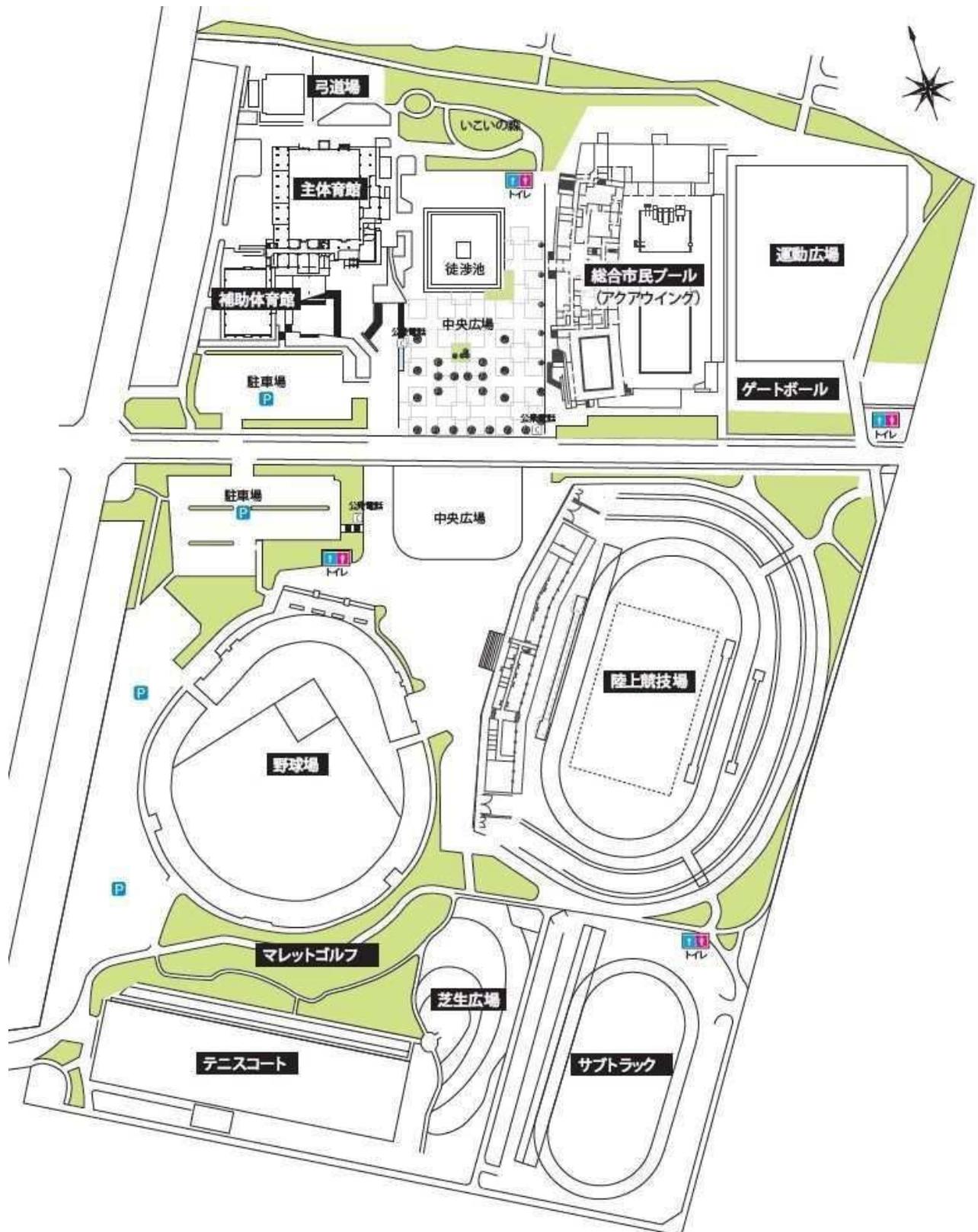
### 共通事項

#### (1) 駐車場不足

- ・ 長野運動公園には国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の競技開催予定施設の 3 施設以外にも陸上競技場、テニスコート等があり、複数の大会・試合が開催される場合は周辺の商業施設や住宅地への迷惑駐車や交通渋滞が発生し、大会運営にも支障が生じています。特に大会等が多く行われる夏季には休日(週末)を中心に慢性的な駐車場不足となっています。
- ・ 駐車場が不足しているため、大規模な大会の開催時には、陸上競技場東側の民有地を大会主催者が借用し、駐車場として利用することがあります。

- 休日(週末)における慢性的な駐車場不足
  - 周辺への迷惑のほか、大会運営にも支障

(2) 長野運動公園 配置図



## 2 真島総合スポーツアリーナ（ホワイトリング）

### (1) 実施予定競技

実施予定競技	種目／種別	備考
バスケットボール	未定※	

※ 成年男子、成年女子、少年男子、少年女子のいずれか

第27回全国障害者スポーツ大会での使用 ○：バスケットボール(知的障害)又は車いすバスケットボール

### (2) 施設の概要

- ・ 工期 平成5(1993)年9月～平成8(1996)年3月
- ・ 構造 <メインアリーナ> 鉄筋コンクリート造・鉄骨造 3階  
<サブアリーナ> 鉄筋コンクリート造・鉄骨造 2階
- ・ 面積
 

	建築面積(m <sup>2</sup> )	延面積(m <sup>2</sup> )
<メインアリーナ>	10,780	16,060
<サブアリーナ>	3,110	3,450
計	13,890	19,510
- ・ 施設内容
  - <メインアリーナ> アリーナ面積 2,700 m<sup>2</sup>  
バスケットボール 3面 バレーボール 4面  
バドミントン 12面  
観客席 固定席 5,008人 冷暖房設備  
会議室、シャワー・洗面所付更衣室、研修室、事務室 他
  - <サブアリーナ> アリーナ面積 2,300 m<sup>2</sup>  
バスケットボール 3面 バレーボール 4面  
バドミントン 12面  
※ただし、半面は体操練習場として使用

#### ・ 利用状況

年 度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
利用人数	166,723人	177,313人	167,263人	180,591人	177,454人

※ R1(2019)年度以降は、令和元年東日本台風と新型コロナウイルス感染症の影響を受けているため掲載していない



メインアリーナ 外観



メインアリーナ 内部



施設外観（右：メインアリーナ、左：サブアリーナ）



サブアリーナ 内部(右側のカーテン奥が体操練習場)

### (3) 現況と課題

- ・ 市内でも貴重な冷暖房を完備した大規模な体育館(アリーナ)として、国際大会、全国大会をはじめ多くの大会が開催されています。また、B1リーグ<sup>※1</sup>及びF1リーグ<sup>※2</sup>の要件を満たす施設として、信州ブレイブウォリアーズとポアールス長野フットサルクラブのホームアリーナとなっており、シーズン中はホーム戦が開催されています。

※1 B1リーグ：ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ ディビジョン1

※2 F1リーグ：日本フットサルリーグ ディビジョン1

〈参考：B1リーグ及びF1リーグの施設基準（抜粋）〉

	入場可能数	照明設備	空調設備
B1リーグ	5,000席以上	1,400ルクス	20℃程度に調整可
F1リーグ	1,000人以上 <sup>*</sup>	規定なし	冷暖房完備

※ 旧規定では2,000人以上

- ・ 本施設の前身は「長野市民体育館」ですが、オリンピック施設として国際大会等も開催可能な施設として新たに整備されたことから、多くの参加者が一堂に会して複数の試合を行うことができる会場として、選手・役員等の参加者や観戦者の宿泊を伴い、本市に経済波及効果を及ぼすような大規模大会が数多く開催される重要な施設となっています。
- ・ 空調設備とアリーナ面積などの点で他に代替となる体育館(アリーナ)がないことから、必ずしも本施設の規模でなくとも開催できる大会(試合)まで開催希望が集中し、開催前年度には週末(休日)の日程がほぼ埋まってしまう状況となっており、非常に予約の“競争率”が高い施設となっています。また、サブアリーナの半分が体操練習場となっていることもこの傾向に拍車をかけています。
- ・ 本来、メインアリーナと同程度のアリーナ面積を持つサブアリーナについて、常時半分使用できないことから、参加者(選手)人数の多い大会の運営などに制約を及ぼしています。
- ・ 築後20年以上が経過しており設備の老朽化が目立つようになってきています(国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催時には築後30年経過)。各種設備についても老朽化・旧式化しているものがあります。また、高い利用率に比例して、メインアリーナの床(フローリング)の劣化が目立つようになってきています。

#### ■ 施設のポテンシャルを活かした有効利用ができていない

→ 本来の施設規模に応じた大会(試合)の開催による本市の活性化

#### ■ 定期的・計画的な設備更新、整備が必要

→ 怠ると将来的に大規模大会の開催が困難になる ※フローリングの前回張替は平成21(2009)年

体育館

(1) 実施予定競技

実施予定競技	種目／種別	備考
バスケットボール	未定※	

※ 成年男子、成年女子、少年男子、少年女子のいずれか

第27回全国障害者スポーツ大会での使用	なし
---------------------	----

(2) 施設の概要

- ・ 工期 平成7(1995)年1月～平成8(1996)年10月
- ・ 構造 鉄筋コンクリート造+木造(屋根及び屋根梁) 2階
- ・ 施設内容
  - アリーナ面積 1,651.53 m<sup>2</sup> (周辺通路を除く)
  - バスケットボール 2面 バレーボール6人制 3面
  - バレーボール9人制 2面 ソフトテニス 2面
  - バドミントン 10面 卓球 20面
  - 会議室、更衣室、スタジオ、観客席 450席
  - 冷暖房設備(令和3(2021)年設置予定)
  - ※同一建物内に通年型25mプール、幼児用プール、ジャグジー等あり

・ 利用状況

年 度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
利用人数	42,128人	41,291人	43,127人	44,574人	48,111人

※ 体育館利用者のみ(プール利用者は含まない)。R1(2019)年度以降は、令和元年東日本台風と新型コロナウイルス感染症の影響を受けているため掲載していない



体育館・プール棟(右側が体育館)



体育館 内部(アリーナ)

(3) 現況と課題

- ・ 同じ建物内にある通年型の25mプールやトレーニングジムを含め、多くの市民のスポーツ活動に利用され、休日は学生や一般の大会などにも利用されています。

- ・ 令和元年東日本台風の際は、災害発生当日(10月12日)から多くの避難者を受け入れ、12月6日の閉鎖まで約2か月間、指定避難所として使用されました。
- ・ 本年(令和3(2021)年)、アリーナの冷暖房設置工事が完了する予定であり、ホワイトリングに集中していた大会(試合)を若干緩和できることや、避難所としての機能向上が期待されています。
- ・ アリーナ照明の照度が不足しており、利用者から「暗い」という苦情が多数寄せられています。
- ・ 竣工後20年以上が経過しており、設備の老朽化が目立つようになっています(国民スポーツ大会開催時には竣工後30年経過)。

- 定期的・計画的な設備更新、整備が必要
- アリーナ照明の照度向上、LED化が必要

## 長野オリンピックスタジアム

### (1) 実施予定競技

実施予定競技/種目	種別	備考
高等学校野球	硬式	特別競技

第27回全国障害者スポーツ大会での使用	なし
---------------------	----

### (2) 施設の概要

- ・ 工期 平成6(1996)年1月～平成12(2000)年3月
- ・ 面積 施設面積 37,900㎡  
建築面積 14,809㎡  
延床面積 10,867㎡
- ・ グラウンド 両翼 99.1m センター 122m 面積 14,200㎡ 内外野人工芝
- ・ スタンド 内野 鉄筋コンクリート造2階(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)  
収容人数 21,000人(バックネット裏椅子席、他はベンチ席)  
外野 芝生席 収容人数 9,000人 磁気反転式スコアボード(W52m×H6m)
- ・ 照明設備 ナイター照明6基  
照度 バッテリー間 2,500ルクス 内野 2,000ルクス 外野 1,000ルクス
- ・ その他設備 管理運営用諸室、選手用諸室、審判用諸室、報道関係者用諸室、  
トレーニングルーム、屋内練習場、会議室

利用状況	年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
利用人数		101,012人	100,567人	124,260人	114,170人	134,623人

※ R1(2019)年度以降は、令和元年東日本台風と新型コロナウイルス感染症の影響を受けているため掲載していない



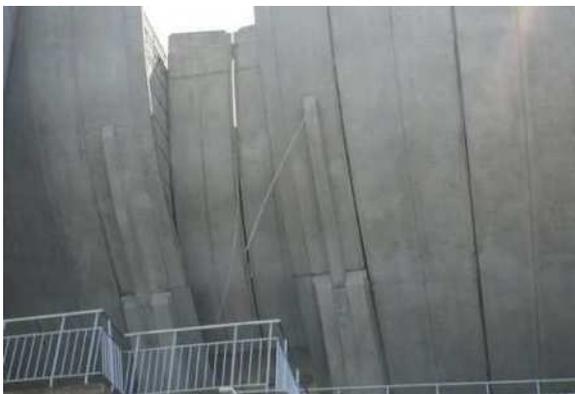
聖火台と長野オリンピックスタジアム外観



長野オリンピックスタジアム グラウンド

### (3) 現況と課題

- ・ 長野オリンピックの開閉会式会場となった本市の象徴的な施設であり、全国的にも有数の規模を誇る野球場としてプロ野球から少年野球まで、幅広く利用されています。
- ・ NPB※の試合やBCL※の試合、全日本大学軟式野球選手権大会、全国高等学校野球選手権大会長野大会などの多くの観客が来場する大会が定期的に行われているほか、社会人や学生の練習にも利用されています。また、長野マラソンのフィニッシュ会場、オリンピックデーランなどのイベントにも利用されています。※NPB：日本野球機構/Nippon Professional Baseball Organization  
※BCL：プロ野球独立リーグ ベースボール・チャレンジリーグ
- ・ 竣工後 20 年以上が経過しており、建物や設備の老朽化・旧式化が目立つようになっていきます（国民スポーツ大会開催時には竣工後 30 年経過）。



内野スタンド外側のシーリング剥がれ



正面階段の劣化(ひび割れ、欠け)

■ 定期的・計画的な設備更新、整備が必要  
→ 怠ると将来的に大規模大会の開催が困難になる

## 総合球技場（長野Uスタジアム）

### (1) 実施予定競技

実施予定競技／種目	種別	備考
サッカー	成年女子	

第27回全国障害者スポーツ大会での使用	なし※
---------------------	-----

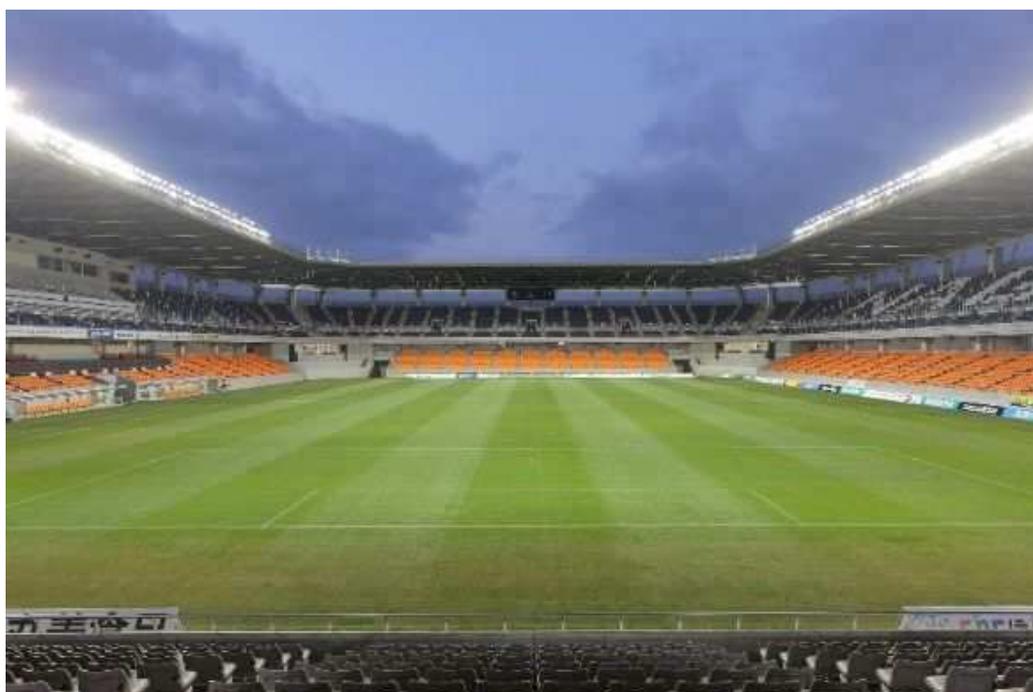
※ 全国障害者スポーツ大会のサッカー競技は松本市で開催予定

### (2) 施設の概要

- ・ 工期 〈建設工期〉平成13(2001)年6月～平成15(2003)年3月  
〈改修工期〉平成25(2013)年12月～平成27(2015)年2月
- ・ 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上4階 高さ25m
- ・ 施設内容 施設面積 13,963㎡ 延床面積 26,684㎡  
フィールド面積 9,600㎡ (120m×80m)  
照明設備 100～1,500ルクス 映像装置 W12m×H6m フルカラーLED  
収容人数 15,575人(一般観客席15,491席)  
※諸室、設備等J1スタジアム基準準拠

利用状況	年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
利用人数		改修中	171,228人	152,768人	154,479人	116,948人

※ R1(2019)年度以降は、令和元年東日本台風と新型コロナウイルス感染症の影響を受けているため掲載していない



照明点灯時のフィールド

### (3) 現況と課題

- ・ 長野オリンピック後にサッカー、ラグビー、アメリカンフットボール等の総合球技場として整備、その後、J1ライセンスの施設基準を満たす“スタジアム”として大規模改修され、屋根の形状から「長野Uスタジアム※」という愛称がつけられました。 ※公募による
- ・ J3リーグに所属するAC長野パルセイロと、WEリーグに所属するAC長野パルセイロ・レディースのホームスタジアムとなっており、シーズン中はホーム戦が開催されています。
- ・ 最新の設備を持ち、地方に適正な規模の“フットボール”専用スタジアムとして、日本サッカー協会はじめ競技団体からの評価が非常に高く、また“観戦しやすいスタジアム”として観客からの評価も高いものとなっています。
- ・ サッカー女子日本代表“なでしこジャパン”の代表戦が2回開催されているほか、2015年から海外からのチームを招いて「Jリーグインターナショナルユースカップ」が開催されています。  
※2020年は新型コロナウイルス感染拡大のため大会中止
- ・ 2つのプロチームのホーム戦が行われているほか、サッカー、ラグビー等の各年代の大会等にも利用されており、他のJリーグホームスタジアムに比べて使用頻度が非常に高く、“競技場”としての評価を左右する芝生の維持管理が困難となっています。

〈参考：Jリーグホームスタジアムの年間使用日数〉

	チーム名	所属リーグ	年間使用日数	施設所有者
茨城県立カシマ サッカースタジアム	鹿島アントラーズ	J1	76日※1	茨城県
松本平広域公園総合球技場 (サンプロアルウィン)	松本山雅FC	J2	90日以内※2	長野県
南長野運動公園総合球技場 (長野Uスタジアム)	AC長野パルセイロ	J3	約120日※3	長野市

※1 2016年スポーツ庁資料 ※2 長野県スポーツ課資料 ※3 長野市開発公社による(2018年までの平均)

- ・ 傷んだ芝生を張り替えるために必要な芝生を育成する圃場(ほじょう)が少なく、高い使用頻度と相まって芝生の維持管理を一層困難にしています。
- ・ 長野Uスタジアムにはサブピッチがなく、また本市には長野Uスタジアムの他に国際大会や大会開催時の練習会場としての施設要件を満たすことができる芝生グラウンドもないため、これを必須の要件とする国際試合や大規模大会を誘致することが困難となっています。このため、競技団体からの高い評価を活かすことができていません。

〈参考：他のスタジアムのサブピッチ例〉 ※写真：Google



茨城県立カシマサッカースタジアム



松本平広域公園総合球技場 (サンプロアルウィン)

- ・ 国民スポーツ大会のサッカー競技については、本市の他に松本市(少年男子)及び大町市(少年女子)で開催されることが内定していますが、1市1種目開催とする方針のため、成年女子種目の開催にあたり、長野Uスタジアム以外にも国民スポーツ大会の施設基準を満たすサッカー場が必要です。

■ 国民スポーツ大会 サッカー競技場の施設基準

— (公財)日本サッカー協会 国体実施委員会「施設ガイドライン」抜粋/要約

- ・ 成年女子(参加チーム数：16)の開催には2～3面のピッチが必要
- ・ 原則ピッチ1面につき1日の試合数は3試合以下 ※芝のコンディション維持のため
  - 原則を適用し、ピッチ1面あたり1日3試合以下とすると、最低ピッチ3面が必要

成年女子	1日目	2日目	3日目	4日目
イベント	1回戦	準々決勝	準決勝	3決・決勝
A面	2試合		2試合	2試合
B面	3試合	2試合		
C面	3試合	2試合		
チーム数16	8試合	4試合	2試合	2試合

※会期に総合開会式及び監督会議の日は含まない

- ・ 常緑の天然芝またはJFA公認のロングパイル人工芝公認ピッチであること
- ・ 人工芝の使用は各カテゴリーで1面の使用を原則とする。ただし、隣接した人工芝ピッチが2面以上ある場合は利用が認められる場合がある
- ・ 準決勝、決勝は必ず天然芝ピッチで開催
  - 人工芝ピッチは1回戦、準々決勝、3位決定戦のみ使用可能
- ・ チーム数分の更衣室、シャワールーム、ドーピングルーム等が必要
- ・ (その他、フィールドサイズ、ウォームアップスペース、付帯施設等を規定)

■ 使用頻度の高さ、圃場の不足により、芝生のコンディション維持が困難

→ 2チームのホームスタジアムであり試合数(使用日数)削減には限界がある

■ サブピッチ及び市内に長野Uスタジアム以外の競技施設がないため、大規模大会(試合)の誘致・開催が困難

→ 評価の高い長野Uスタジアムのポテンシャルを活かせていない

■ 国民スポーツ大会開催には、長野Uスタジアム以外にも施設基準を満たす競技場が必要

→ 長野市営陸上競技場での開催にはトラック等の大規模な改修が必要であり、国民スポーツ大会終了後、再び復旧を行う必要がある

## 南長野運動公園 共通事項

### (1) 駐車場不足

- ・ 南長野運動公園には国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の競技開催予定の3施設以外にも、テニスコートやゲートボール場、相撲場等があり、複数の大会・試合が開催される場合は周辺の商業施設や住宅地への迷惑駐車や交通渋滞が発生し、大会運営にも支障が生じています。特にJリーグの試合が開催される週末は慢性的な駐車場不足となっています。

#### ■ 休日(週末)における慢性的な駐車場不足

→ 周辺への迷惑のほか、試合・大会運営にも支障

### (2) 南長野運動公園 配置図



4 競技開催予定施設(スポーツ施設)の課題 — まとめ —

長野運動公園	総合体育館	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 竣工後 43 年経過による施設の老朽化</li> <li>■ 大会(試合)の開催が敬遠され、ホワイトリングに大会(試合)の開催希望が集中</li> <li>■ バリアフリー化不足により全国障害者スポーツ大会の開催に支障</li> <li>■ 指定避難所としての機能が不足</li> </ul>
	総合市民プール (アクアウィング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 定期的・計画的な設備更新、整備が必要</li> </ul>
	県営野球場	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物・設備の老朽化が激しく、補修や更新が困難</li> <li>■ 観客を含めた障害者対応に支障</li> <li>■ 飛球対策不足からにより、施設周辺に人的・物的被害が発生する恐れ</li> </ul>
	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 休日(週末)における慢性的な駐車場不足</li> </ul>
ホワイトリング		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 施設のポテンシャルを活かした有効利用ができていない</li> <li>■ 定期的・計画的な設備更新、整備が必要</li> </ul>
南長野運動公園	体育館	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 定期的・計画的な設備更新、整備が必要</li> <li>■ アリーナ照明の照度向上、LED化が必要</li> </ul>
	長野オリンピックスタジアム	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 定期的・計画的な設備更新、整備が必要</li> </ul>
	総合球技場 (長野Uスタジアム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 使用頻度の高さ、圍場の不足により、芝生のコンディション維持が困難</li> <li>■ サブピッチ及び市内に長野Uスタジアム以外の競技施設がないため、大規模大会(試合)の誘致・開催が困難</li> <li>■ 国民スポーツ大会開催には、長野Uスタジアム以外にも施設基準を満たす競技場が必要</li> </ul>
	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 休日(週末)における慢性的な駐車場不足</li> </ul>

### Ⅲ 施設整備計画の対象とする施設及び計画の内容

#### 1 長寿命化改修による整備を行う施設

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の競技開催予定施設のうち、主な課題として「定期的・計画的な設備更新、整備が必要」が挙げられ、かつ、公共施設個別施設計画で今後の施設の方針を「長寿命化」としている施設は、今回の整備計画の対象とせず、長野市公共施設等総合管理計画の長寿命化基本方針に基づき、施設の長寿命化を図るための保全工事を中心に実施していくものとします。

##### 〈長寿命化改修による整備等を行う施設〉

- 長野運動公園 総合市民プール（アクアウイング）
- 真島総合スポーツアリーナ（ホワイトリング）
- 南長野運動公園 体育館
- 南長野運動公園 長野オリンピックスタジアム

#### 2 施設整備計画の対象から除く施設

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の競技開催予定施設のうち、次の施設については所有者が長野市でないため、今回の整備計画の対象から除くものとします。ただし、大会の開催に向けて老朽化等の課題を解消するため、施設所有者である長野県に対し改築を要望します。

##### 〈施設整備計画の対象から除く施設〉

- 長野運動公園 県営野球場 — 施設所有者である長野県に対し、課題解消のため改築を要望

#### 3 施設整備計画の対象とする施設等

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の競技開催予定施設のうち、次の施設等を今回の整備計画の対象とし、課題解決に向けた整備手法等の検討を行います。

なお、当該施設の課題だけでなく、長野市全体の公共施設マネジメント、財政状況、スポーツ環境等を考慮しながら、将来本市のスポーツ振興に資する整備となるよう、複合的に検討を行います。

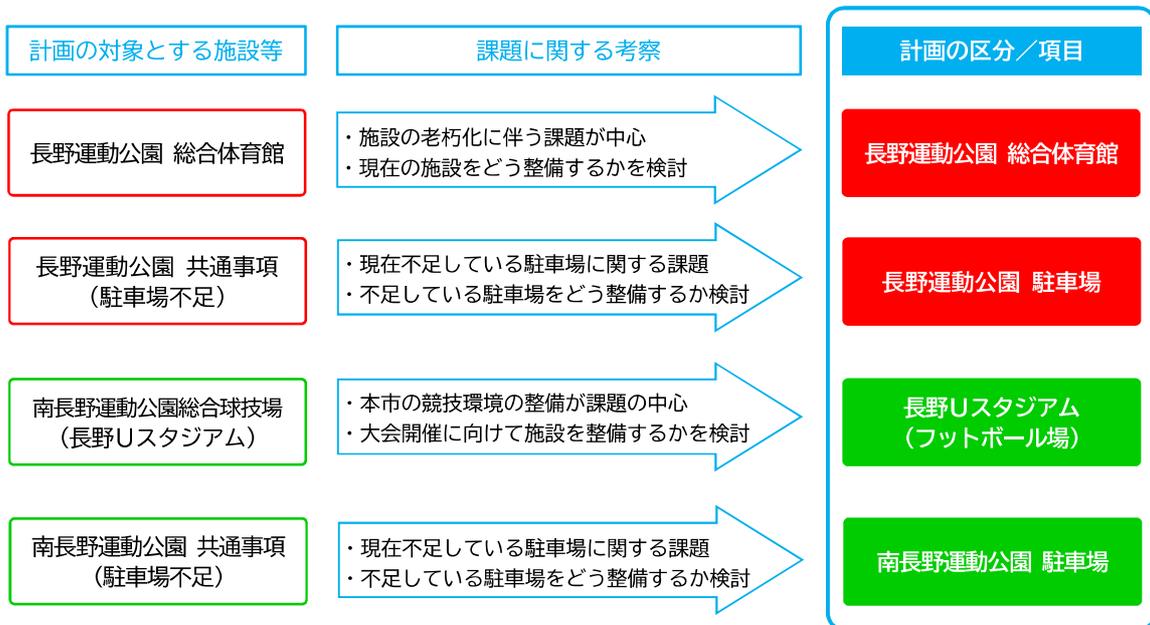
##### 〈施設整備計画の対象とする施設等〉

- 長野運動公園 総合体育館
- 長野運動公園 共通事項（駐車場不足）
- 南長野運動公園 総合球技場（長野Uスタジアム）
- 南長野運動公園 共通事項（駐車場不足）

## 4 施設整備計画の内容

### (1) 施設整備計画の区分

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会施設整備計画では、前項で定めた対象とする施設等について、以下のとおり区分し、検討・策定を行います。



### (2) 施設整備計画で定める事項

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会施設整備計画では、区分／項目ごとに以下の事項について定めるものとします。

- ① 課題等解消の方法(手段)
- ② 施設整備計画における方針
- ③ 整備内容／施設の規模(仕様)
- ④ 防災機能
- ⑤ 補助・助成制度の活用
- ⑥ 整備手法、整備後の維持管理
- ⑦ 既存スポーツ施設の見直し
- ⑧ 事業スケジュール

### 1 課題解消の方法（手段）

#### (1) 課題の整理

6 ページで挙げた課題は以下のとおりです。

- 1 竣工後 43 年経過による施設の老朽化
- 2 大会(試合)の開催が敬遠され、ホワイトリングに大会(試合)の開催希望が集中
- 3 バリアフリー化不足により全国障害者スポーツ大会の開催に支障
- 4 指定避難所としての機能が不足  
→ 高齢者・障害者対応(バリアフリー新法不適合)、夏季の対応(空調設備の不備)

#### (2) 課題解消のために考えられる方法（手段）

##### 1 竣工後 43 年経過による施設全体の老朽化

- ・施設全体の老朽化が激しく、コンクリート打放しの外壁はコンクリートの中性化による爆裂が発生しています。また、メインアリーナは天井から雨漏りが続いています。
- ・基準値以上の耐震強度を保持していますが、昭和 56(1981)年の新耐震基準以前に建てられた旧耐震基準施設です。
- ・長野市公共施設等総合管理計画の長寿命化の基本方針では、「昭和 56(1981)年の新耐震基準以前に建てられた既存施設は、今後の施設総量削減を見据え、原則、長寿命化は行わず、竣工から 50 年を建替え時期とする」としています。

##### 2 大会(試合)の開催が敬遠され、ホワイトリングに大会(試合)の開催希望が集中

- ・原因 1：冷房設備の不備
  - メインアリーナは重油ボイラーによる暖房のみとなっており、サブアリーナ、柔剣道場に空調設備はありません(会議室と事務室には個別エアコン有)。このため、特に夏場を中心に空調設備の整ったホワイトリングに大会(試合)の開催希望が集中する傾向があります。
- ・原因 2：観客席が 1,200 席(固定席)と少ない
  - 興行として行われるスポーツイベントでは、一般的にホームチームの安定的な経営状態を保つため、1 試合当たり 2,000 人以上の観客数が望ましいと言われていいます。また、一般の大会では観客席が参加者の控え場所となるため、参加者の多い大会では通路や 2 階のエントランスも控え場所として使用する状態になります。

・原因3：観客用トイレが少ない

→ スポーツアリーナで推奨される最小設置数は、女性1,000人につきトイレが20室、洗面台が7、男性1,000人につきトイレ5室、小便器10器、洗面台が5とされています。

現在の施設は、トイレは、2階に女性トイレ10室、洗面台が6、男性トイレ4室、小便器11器、洗面台が6、3階に女性トイレ1室、洗面台が1、男性トイレ1室、小便器2器、洗面台が1となっています。車イス等に対応する多目的トイレは1階にしかありません。

・原因4：大会(試合)運営諸室の不備

→ 大会(試合)運営に必要な諸室が不足しています。特に各種競技の運営側から求められる審判更衣室や、国民スポーツ大会でも設置が求められるドーピングコントロール室に適した諸室がありません。

**3** バリアフリー化不足により全国障害者スポーツ大会開催に支障

・昭和53(1978)年8月竣工の古い建物であるため、平成18年に改正したバリアフリー法の建築物移動等円滑化基準を満たしていません。このため、出入口の段差解消、手摺の設置、2階や3階への多目的トイレ設置などが必要です。

**4** 指定避難所としての機能が不足

・原因1：高齢者・障害者対応の機能が不足

→ 施設のバリアフリー化不足により、トイレ動線など避難生活に不便を与えるおそれがあります。実際に令和元年東日本台風で避難所となった際、高齢者から改善の要望がありました。

・原因2：冷房設備の不備

→ 近年は温暖化により気温が上昇し、屋内でも熱中症の危険があります。本施設は冷房がないため、夏場は避難生活を送るのが困難な状態です。



令和元年東日本台風災害発生当初のメインアリーナ内



避難所として長期間利用されたメインアリーナ

これまでの検証から、課題解消のためには現在不足している機能の整備が必要ですが、そのためには次の2つの方法(手段)が考えられます。

案A：現在の総合体育館を大規模改修する  
案B：現在の総合体育館を建替える

以下、それぞれの案について検証を行います。

不足している機能など	案A：大規模改修		案B：建替え	
老朽化	△	中性化対策や長寿命化には相当の費用を要するが、耐用年数は伸びない	○	—
空調設備	△	機械室や配管等のスペースが必要なため、現在の機能が損なわれるおそれがある	○	新設のため整備可能
観客席(参加者の控え場所)	×	拡張は困難	○	新設のため整備可能
観客用トイレ	×	拡張は困難	○	新設のため整備可能
大会(試合)の運営諸室	×	増設は困難	○	新設のため整備可能
バリアフリー化	△	2階以上への多目的トイレ設置は困難	○	新設のため整備可能

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会時に竣工後50年を経過する施設であり、大規模改修後約30年で鉄筋コンクリート躯体の耐用年数を迎えます。<sup>※1</sup>

なお、国土交通省の防災・安全交付金では「耐用年数の9割<sup>※2</sup>を超過した公園施設」を重点配分の対象としています。

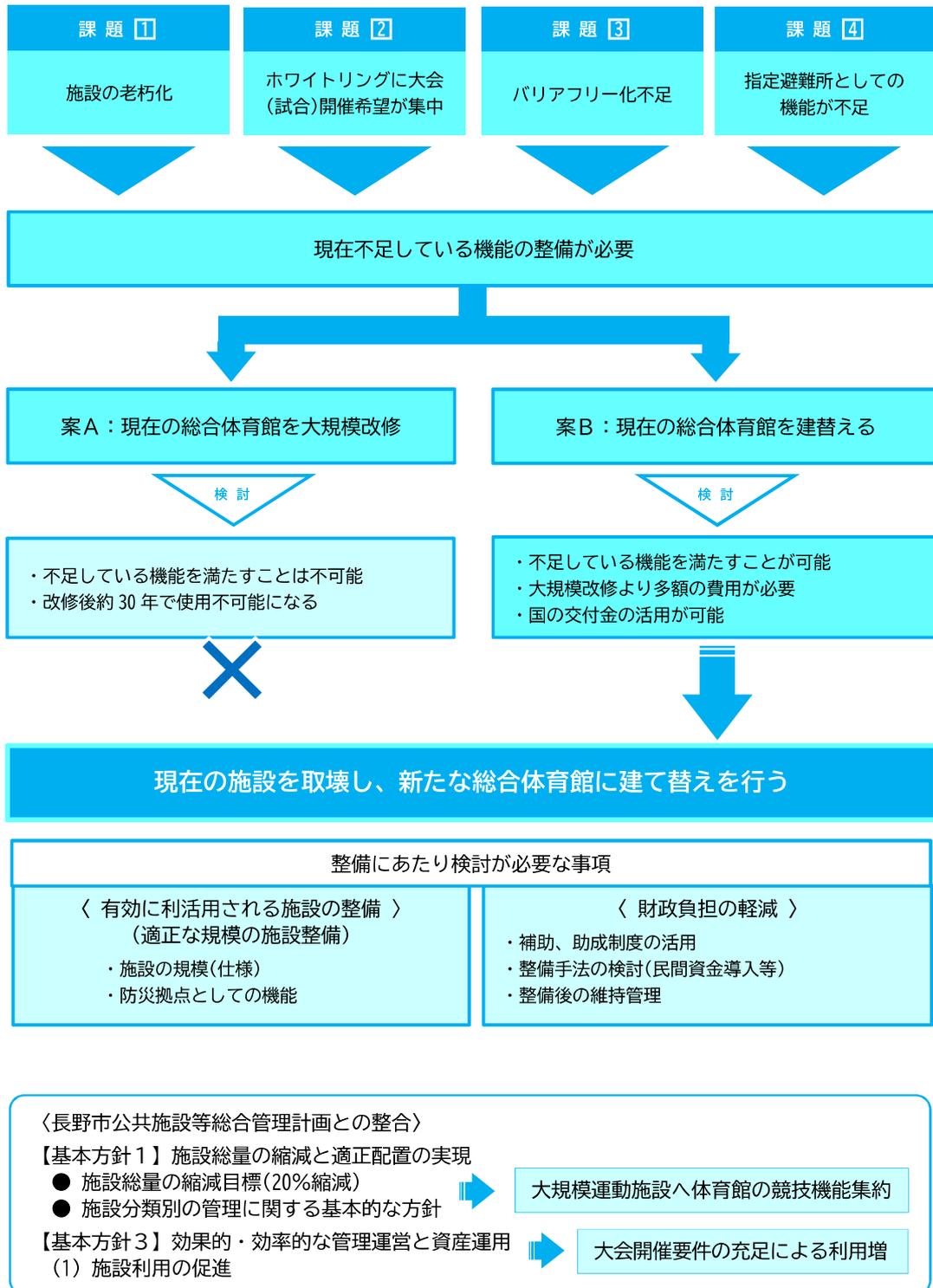
※1 長野市公共施設等総合管理計画における使用年数の考え方(新耐震基準以降の建物の場合)

「鉄筋コンクリート造躯体における物理的な耐用年数は「建築物の耐久計画に関する考え方」(日本建築学会)により(中略)耐用年数(Y)は81年と算出されるため本市の目標使用年数を80年と設定します。」

※2 長野運動公園総合体育館の場合、令和5(2023)年に耐用年数の9割(竣工後45年)を迎える

(3) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会施設整備計画における方針（案）

これまでの検討の結果から、現在の施設を取壊し、課題を解消できる機能を有した新たな総合体育館に建て替えることが必要と考えられます。また、整備にあたっては、将来にわたって市民等に有効に利活用されるとともに、可能な限り本市の財政負担軽減を図ることができるよう検討した上で、新しい総合体育館の規模(仕様)を決定することが必要と思われま



## V 長野運動公園 駐車場

### 1 課題解消の方法（手段）

#### (1) 課題の整理

9 ページで挙げた課題は以下のとおりです。

- 休日(週末)における慢性的な駐車場不足  
→ 周辺への迷惑のほか、大会運営にも支障

#### (2) 課題解消のために考えられる方法(手段)

長野運動公園内の施設で複数の大会等が行われる際には、駐車場ではない場所(徒渉池周辺など)を駐車場として臨時に利用し、運営側も参加者や観覧者に乗合いや公共交通機関での来場をお願いするなど様々な対策を行っていますが、運動公園内の駐車場利用だけでは車両を収容しきれず、交通渋滞等周辺への影響が発生する状況となっています。

#### ■ 長野運動公園駐車場図(駐車可能台数)



駐車場不足を解消するには新たな駐車場が必要ですが、周辺は市街化しており活用できる民間の駐車場等もないため、駐車場を確保する手段としては次の2つの方法が考えられます。

- 案A：長野運動公園内に新たな駐車場を整備
- 案B：長野運動公園隣接地に新たな駐車場を整備

以下、それぞれの案について検証を行います。

なお、整備する駐車場の規模は既存の駐車場の駐車台数を勘案し、駐車台数 150 台程度の規模とします。

### 案A：長野運動公園内に新たな駐車場を整備

- ・長野運動公園は、条例※で定める運動公園の運動施設の敷地面積の基準がほぼ上限の割合(49.4%)となっており、緑地や駐車場などの施設以外の敷地面積が少ない状態となっています。

※長野市都市公園条例 第2条の5



- ・施設以外の敷地面積の多くを駐車場として利用しているため、新たな駐車場を整備する場合は現在緑地として利用している場所に整備するしかありませんが、150 台程度の駐車台数を確保するには小さな駐車場に分割せざるを得ず、駐車場への誘導など管理運営が非常に複雑になります。また、公園内の緑地の多くが失われることになり、都市公園本来の役割を損ないかねません。

都市公園の役割 (出典：国土交通省 都市局公園緑地課・景観課 ホームページ)

- ・良好な都市環境の提供
- ・都市の安全性向上、防災拠点
- ・市民の活動の場、憩いの場の形成
- ・豊かな地域づくり、地域の活性化

- ・緑地を駐車場として整備した場合、車両の進入・退出するための道路を整備することが困難です。

## 案B：長野運動公園隣接地に新たな駐車場を整備

- ・隣接地に駐車場を整備する場合、用地の取得(買収)を行う必要があります。
- ・長野運動公園に隣接した用地でないと「都市公園整備」に該当しない（「公園の拡張」とならない）ため、国庫補助の対象事業となりません。
- ・1か所に集約した駐車場を確保できれば、通常時だけでなく大会等開催時も駐車台数の状況把握がしやすく、利用者の利便性も良くなるため、管理運営の効率化や施設利用の促進につながることが期待されます。
- ・今後、総合体育館建設工事の影響で一時的に既存の駐車場が減少することが予想されますが、新たに駐車場を整備できれば、工事の影響を少なくすることが可能です。
- ・以上のことから新たな駐車場の整備場所は、大規模大会等で借用している陸上競技場東側の民有地が最適と思われます。

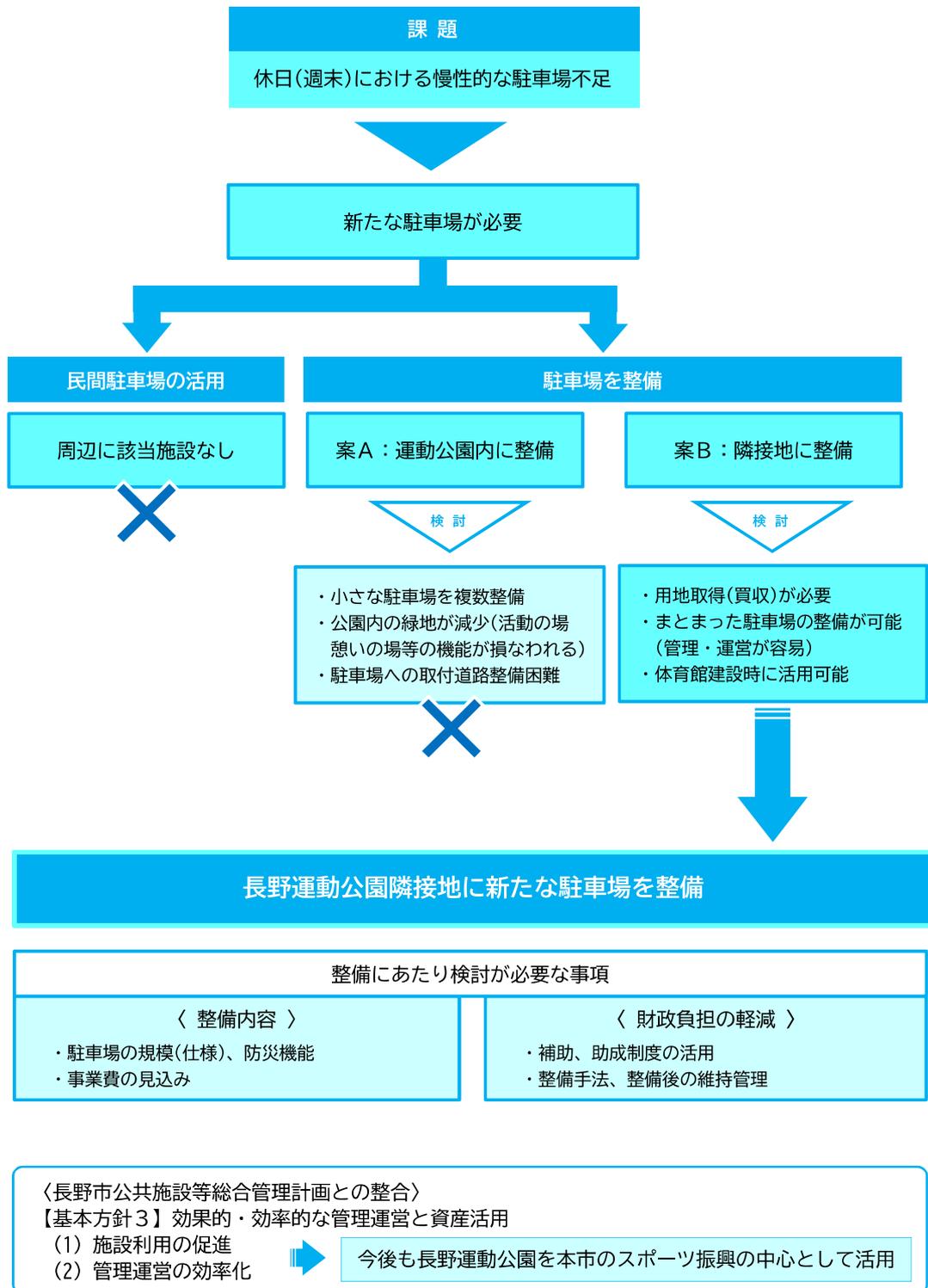
〈陸上競技場東側民有地 位置図〉



所在地：長野市大字石渡  
敷地面積：約 5,500 ㎡

(3) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会施設整備計画における方針（案）

検討の結果から、長野運動公園隣接地に新たな駐車場を整備することが必要と考えられます。整備場所は、陸上競技場東側の民有地(約 5,500 m<sup>2</sup>)が最も適しており、用地取得後、公園に編入した上で駐車場を整備したいと考えています。



## VI 長野Uスタジアム（フットボール場）

### 1 課題解消の方法（手段）

#### (1) 課題の整理

18 ページで挙げた課題は以下のとおりです。

- **使用頻度の高さ、圃場の不足により、芝生のコンディション維持が困難**  
→ 2チームのホームスタジアムであり試合数(使用日数)削減には限界がある
- **サブピッチ及び市内に長野Uスタジアム以外の競技施設がないため、大規模大会(試合)の誘致・開催が困難**  
→ 評価の高い長野Uスタジアムのポテンシャルを活かせていない
- **国民スポーツ大会開催には、長野Uスタジアム以外にも施設基準を満たす競技場が必要**  
→ 長野市営陸上競技場での開催にはトラック等の大規模な改修が必要であり、国民スポーツ大会終了後、再び復旧を行う必要がある

#### (2) 課題解消のために考えられる方法(手段)

##### 1 芝生のコンディション維持が困難

###### ・原因1：使用頻度の高さ

→ JリーグやWEリーグの試合、ラグビーの国際親善試合等の有料試合については、長野Uスタジアム以外での開催は困難です。また、これらの有料試合は本市に与える経済波及効果が大きく、本市が取り組んでいる地域密着型プロスポーツチームとの連携の観点からも、引き続き長野Uスタジアムで開催していく必要があります。

〈参考：Jリーグクラブによる地域への経済波及効果〉注：各チームの経済波及効果については、調査手法がそれぞれ異なる

チーム名	推計時期	経済波及効果	推計機関
松本山雅FC	2011年	14.1億円	NPO法人SCOP
モンテディオ山形	2008年	14.0億円	荘銀総合研究所
カタレ富山	2008年	11.7億円	北陸経済研究所
ガイナレ鳥取	2008年	5.9～7.9億円	鳥取県
AC長野パルセイロ	2012年	5.4 <sup>※1</sup> ～13.6億円 <sup>※2</sup>	NPO法人SCOP

※1：JFL時の推計 ※2：J2昇格を仮定した推計

→ 上記の試合以外については、開催にあたって必ずしも長野Uスタジアムの施設規模でなくてもよい試合(大会)が多く、他に更衣室、運営諸室、観客席等の設備を有する“フットボール場”があれば、かなりの試合(大会)を振り替えることが可能です。

なお、長野Uスタジアムのサブピッチ的なフットボール場であれば、決勝や3位決定戦のみを長野Uスタジアムで行うような大会運営が可能であり“プロチーム以外長野Uスタジアムは使えない”という状態になることを避けながら芝生への負荷を軽減することが可能です。

・原因2：圃場の不足

→ 総合球技場改修時に整備した圃場(250㎡)では不足していたため、平成28(2016)年に南長野運動公園内(テニスコート南側)に圃場を整備(800㎡/合計1,050㎡)しました。これ以上の圃場を南長野運動公園内に整備するには、現在使用されている公園の機能(芝生広場等)を廃止する必要がありますが、多くの利用者がいるため困難です。

長野Uスタジアムのピッチコンディション維持のためには1,500㎡から2,000㎡の圃場があることが望ましいため、500㎡から1,000㎡の圃場整備が必要です。



圃場の状況



芝の張替え作業

2 大規模大会(試合)の誘致・開催が困難

・原因：サブピッチ及び長野Uスタジアム以外の競技施設がない

→ 全国大会等の大規模な大会の開催にあたっては、更衣室、運営諸室、観客席等の設備を有する芝生グラウンド(天然芝又は人工芝)が複数必要です。また、日本代表の親善試合等の国際試合開催にあたっては、試合会場の近隣に以下のような設備の整った練習場を備えることが条件とされています。

〈参考：2017年 国際試合開催条件／(公財)日本サッカー協会 競技運営部〉(抜粋)

2. 練習会場

- (1) チーム数分の会場の確保(実際の利用の有無/時間帯は、チーム意向により最終確定)
- (2) 原則として「試合4日前」から「試合翌日」まで ※公式戦時はさらに前倒しの可能性あり
- (3) 天然芝(良好な芝生状態の維持)
- (4) 照明施設(最低照度=500 lux程度)
- (5) シャワー付きチーム更衣室、メディア用控室(=原則日本チーム利用会場は必須)の用意
- (6) 正規ゴール1組(=2個)に加えて可動式ゴール1組(=2個)
- (7) 最低1会場(=日本チーム利用分)の非公開練習が可能
- (8) クリーンベンチャー(=商業的表示の撤去・マスキング)

→ 現在、本市には2(3)施設6(7)面の天然芝グラウンドがありますが、いずれも全国大会等の大規模な大会開催や国際試合の練習ができる付帯施設・設備を有していません。

〈本市の芝生グラウンド〉

チーム名	面数	摘要
千曲川リバーフロントスポーツガーデン	5面	河川敷のため付帯施設等の整備が不可能
飯綱高原南グラウンド	1面	防球ネット等整備中。市街地から遠い
(長野運動公園 陸上競技場)	(1面)	(陸上競技で使用の為、利用調整が困難)

→ サッカー・ラグビー両競技団体から評価の高い長野Uスタジアムのポテンシャルを活かし、本市にとって大きな経済効果のある、全国大会等の大規模な大会(試合)を継続的に誘致・開催するためには、一定の設備を有し、長野Uスタジアムのサブピッチとして機能する“フットボール場”の整備が必要です。



キリンチャレンジカップ2015 なでしこジャパンvsイタリア代表(2015年5月28日)  
※女子A代表(なでしこジャパン)の試合では初のチケット完売となった試合

### 3 国民スポーツ大会開催には長野Uスタジアム以外にも施設基準を満たす競技場が必要

本市の既存芝生グラウンドを、国民スポーツ大会の施設基準を満たすように改修することは不可能であるため、解決のためには次の2つの方法(手段)が考えられます。

- 案A：競技施設を有する周辺自治体との分散開催
- 案B：施設基準を満たすフットボール場の整備

以下、それぞれの案について検証を行います。

#### 案A：競技施設を有する周辺自治体との分散開催

##### ① 周辺自治体のサッカー競技施設

本市周辺のサッカー競技施設は次の3施設があるが、すべて人工芝グラウンド1面の競技施設であるため、国民スポーツ大会の施設基準である「人工芝の使用は各カテゴリーで1面の使用を原則とする。ただし、隣接した人工芝ピッチが2面以上ある場合は利用が認められる場合がある」の規定から、使用できるのは1施設のみとなります。また、いずれの施設もJFA公認のロングパイル人工芝ピッチではないため、ピッチの改修及び公認検査が必要となります。

〈周辺自治体のサッカー競技施設〉

競技施設	面数	国スポ施設基準の適合			長野駅からの所要時間	摘要
		JFA公認	付帯施設*	WU入場券		
千曲市サッカー場	人工芝	×	×	△	約50分	いずれも付帯施設の仮設整備が必要
中野市多目的サッカー場	人工芝	×	×	△	約40分 (高速道使用)	
筑北村サッカー場	人工芝	×	×	△	約60分 (高速道使用)	

※チーム分の更衣室、審判・運営要員の諸室、シャワールーム、ドーピングコントロールルーム、マッチコミッショナー室等

② 分散開催にかかる費用

周辺自治体と分散開催した場合、通常開催経費に上乗せされる費用※として想定されるものは次のとおりです。

なお、本市の都合により施設を借用することから、開催にかかる経費は負担金などで、すべて本市が負担するものと想定されます。

・シャトルバス運行経費(千曲市以外は高速道路利用)	3,000 ～ 5,000 千円
・仮設施設経費	50,000 ～ 70,000 千円
・JFA公認ピッチの公認料、検査料	約1,500 千円
・ピッチ改修費用(JFA公認人工芝への張替え)	130,000 ～ 150,000 千円
・会場利用料(1週間程度)	450 ～ 1,000 千円
合計	約190,000 ～ 230,000 千円

③ 分散開催のメリットと問題点

■ メリット

分散開催した場合に上乗せされる費用の総額は、新たにフットボール場の整備を行うより遥かに安価であり、財政的には大きなメリットがあります。

■ 問題点

・長野Uスタジアムの芝のコンディション悪化

人工芝ピッチの使用は、隣接した2面がない場合は1カテゴリー(種目)1面のみに限られることから、分散開催した場合は次のような競技日程となります。

〈周辺自治体と分散開催した場合の競技日程〉 注：1回戦は1面で3試合以上を行う必要があるため、競技団体等と協議が必要

成年女子	1日目	2日目	3日目	4日目
イベント	1回戦	準々決勝	準決勝	3決・決勝
長野Uスタジアム	4試合	2(又は0)試合	2試合	2(又は1)試合
周辺自治体の施設	4試合	2(又は4)試合	—	0(又は1)試合
チーム数16	8試合	4試合	2試合	2試合

※会期に総合開会式及び監督会議の日は含まない

長野Uスタジアムでは4日間で7～10試合を行わなければならないが、決勝時には相当のピッチコンディション悪化が想定されます。また、国民スポーツ大会終了後のJリーグやWEリーグ等への影響が懸念されます。

・施設整備方針との不適合

開催のため他の自治体の施設整備(改修)を行うこととなりますが、将来的に本市には何も残るものがなく、費用は周辺自治体の競技施設で行われる6～9試合、2～3日間だけのためのもとなります。また、本市のスポーツ施設が抱える課題を解消するものでなく、補助・助成制度の活用もできないため、施設整備方針に合致しません。

## 案B：施設基準を満たすフットボール場の整備

施設基準を満たすフットボール場を新たに整備することは、国民スポーツ大会のサッカー競技開催という点からは最も確実に課題を解決できる手段ですが、多額の財政負担を本市に強いることになり、また、公共施設の縮減という方針にも反するため、将来の有効活用や本市に与えるメリット等について慎重に検討する必要があります。

### ① 本市におけるサッカー等競技環境の課題とフットボール場の必要性

#### ■ 千曲川リバーフロントスポーツガーデンの機能移転

千曲川リバーフロントスポーツガーデンは、実質的に本市唯一の芝生グラウンドとして、平日はAC長野パルセイロトップチーム及びレディースチーム、AC長野パルセイロアカデミーの練習場所として使用され、週末(休日)は主に子供たちのサッカー大会やラグビー教室が行われるなど、本市のサッカー・ラグビーの振興に大きな役割を果たしています。しかし、天然芝であるため利用が多いほど芝生の維持管理が難しくなるほか、河川敷(堤外地)という立地から、夜間照明や観客席、更衣室等の施設・設備を設置することができません。また、近年は水害を受けることが多くなっており、市民が参加する多くの大会等の日程が変更を強いられているほか、AC長野パルセイロのリーグ戦終盤の練習場確保が困難になっています。また、その都度復旧のための費用が必要となります。

このため、長野県サッカー協会、長野市サッカー協会から、堤内地への芝生グラウンド整備に関する陳情が提出されており、市議会からも堤内地への芝生グラウンド整備について複数回質問が出されています。



令和元年東日本台風時の被災状況 (2019年10月)

#### 〈参考〉

令和元年東日本台風 災害復旧費 136,307千円

〃 利用停止日数 約200日

利用件数 平成30(2018)年度 2,282件

## ■ 市内競技者の練習環境整備

本市のサッカー競技人口は競技別では最も多く、AC長野パルセイロのホームタウンであることや、同クラブの普及活動などもあり多くの子供たちがサッカーを始め、子供の人口が減少する中、協会登録者は増加し、競技者の受け皿となるクラブチームも多い状況です。

〈競技別登録者数(競技団体、高体連、高野連、中体連)〉 注：レジャーとして行っている者は含まれていない

競技名	長野市内※1	うち高校生以下※1	参考：中央競技団体※2
サッカー	3,410人	2,480人	958,924人
ラグビー	220人	165人	95,200人
バスケットボール	2,425人	2,110人	620,715人
野球(硬式・軟式)	1,705人	1,352人	60,792人
バレーボール	1,360人	1,270人	422,924人
テニス(硬式・軟式)	2,090人	1,340人	481,975人

※1：2020年度長野市スポーツ協会、長野市教育委員会、長野県高等学校体育連盟 調べ

※2：出典 笹川スポーツ財団/中央競技団体現況調査 2018

〈長野市サッカー協会 登録者・チーム数(高校生以下)の推移〉 注：チーム数にフットサルクラブは含まない

2018年		➡	2020年	
競技者数	チーム数		競技者数	チーム数
2,320人	59		2,480人	58

参考：市内6歳～18歳の人口推移 2018年4月 45,514人 ➡ 2020年4月 44,023人

※長野市統計情報

サッカーの試合は原則芝生で行われるため、普段の練習環境は非常に重要であり、上達だけでなくケガの防止にもつながります。このため、高校サッカーの強豪校の多くは人工芝グラウンドを備えており、2018年の全国高校サッカー選手権大会で上田西高校がベスト4入りした際には、普段土のグラウンドで練習を行っていることが全国的にニュース※になったほどです。

※ 参考：2018年1月5日 スポーツ報知

「上田西、私立でも稀な土のグラウンドで鍛錬…雪にも、土にも負けず 長野県勢初4強」

千曲川リバーフロントスポーツガーデンには夜間照明がなく、週末(休日)は大会等で利用されていることが多いため、本市には平日夜間及び休日に、子供たちを含めた一般のチームが利用できる芝生グラウンドの練習環境がない状態です。

なお、長野県内の夜間照明を備えた芝生グラウンドは中信地域に多く、JFA全日本U-12サッカー選手権大会長野県大会(2017年まで全国少年サッカー選手権大会)の優勝も中信地域のチームが多くなっています。

〈長野県内の夜間照明付き芝生グラウンド〉

競技施設名	芝生種類	所在地(地域)	設置者
中野市多目的サッカー場	人工芝	中野市(北信)	中野市
千曲市サッカー場	人工芝	千曲市(北信)	千曲市
軽井沢風越公園グラウンド	人工芝	軽井沢町(東信)	軽井沢町
筑北村サッカー場	人工芝	筑北村(中信)	筑北村
松本市サッカー場	人工芝	松本市(中信)	松本市
梓川ふるさと公園多目的グラウンド	天然芝	松本市(中信)	松本市
松本市かりがねサッカー場	人工芝	松本市(中信)	松本市

※利用者が一般的に練習できないもの(大規模施設、陸上競技場、学校のグラウンド)を除く

〈JFA全日本U-12サッカー選手権大会長野県大会 優勝チーム〉

年	回	チーム名	所在地(地域)
2021	45	フォルツァ松本Jr	松本市(中信)
2020	44	フォルツァ松本Jr	松本市(中信)
2019	43	松本山雅FC U-12	松本市(中信)
2018	42	アンテロープ塩尻ジュニア	塩尻市(中信)
2017	41	フォルツァ松本Jr	松本市(中信)

以上のことから、競技振興・環境整備の観点からは、新たなフットボール場(芝生グラウンド)の整備が望まれており、国民スポーツ大会の開催を機会に整備を行った場合、大会終了後もサッカー、ラグビーの競技者に有効利用されるものと思われます。

## ② フットボール場整備によるメリットとデメリット

フットボール場の整備を行った場合の本市に与えるメリットとデメリットについて、サッカー、ラグビー等競技者(利用者)の観点以外からも検討を行います。

### ■ 財政負担

新たな施設を整備することは、本市にとって大きな財政負担となります。また、整備後の維持費も将来にわたって負担となるものであるため、整備費だけでなく、維持管理を見据えた整備手法や、既存の類似スポーツ施設の見直しも併せて行う必要があります。

なお、国民スポーツ大会の施設整備に位置付けることにより、整備場所・内容等の条件を満たせば、補助・助成制度の対象とすることが可能です。

#### ● 【例】社会資本整備総合交付金

- ・国民スポーツ大会などの“国家的関連事業”の開催に向けた都市公園の整備に関する事業は、国土交通省の社会資本整備総合交付金の重点売配分事業となる。
- ◆ 補助率 工事費 国 1/2 : 市 1/2、用地補償費 国 2/5 : 市 3/5
- ◆ 起債充当率 市負担額の90% (公共事業等債)
- ◆ 交付税措置率 起債額の20%

## ■ 災害に強い施設の整備

本市のサッカー・ラグビー競技の拠点施設である千曲川リバーフロントスポーツガーデンは、河川敷(堤外地)という立地から度々水害を受けており、近年は2年に1度の頻度となっています。今後も気候変動に伴い水害の発生は増加するものと予想されています。

〈過去 10 年間の水害〉

発生年月等	利用停止期間
平成 25(2013)年 9月 台風 18 号	約 1 か月
平成 29(2017)年 10月 台風 21 号	約 10 日
令和元(2019)年 10月 台風 19 号	約 200 日
令和 3 (2021)年 8月 豪雨災害	約 1 週間

〈今後の気候変動について〉 出典：気象庁「地球温暖化予想情報」

- ◆ 豪雨の発生件数が 30 年前の約 1.4 倍に増加
- ◆ 今後、平均気温の上昇に伴う流入水蒸気量の増加により、総降水量が増加

堤内地へのフットボール場整備は、水害の影響を受けづらい競技施設の確保だけでなく、大規模災害時、他の自治体からの緊急消防援助隊や自衛隊の宿营地・車両基地などの支援拠点としての機能を果たすことができます。

令和元年東日本台風災害では、南長野運動公園が自衛隊の宿营地となりましたが、テントを設営する適当な場所が少なく、傾斜地やわずかな平坦地にテントを設営していました。



南長野運動公園における自衛隊のテント設営状況

## ■ 大規模大会(試合)の誘致・開催

国民スポーツ大会の施設基準を満たすフットボール場の整備により、前述した長野Uスタジアムでの大規模大会(誘致)時の練習会場としての活用だけでなく、整備したフットボール場自体で、これまで本市で開催できなかった市外・県外から多くの参加者・観客が宿泊を伴って参加するような大会(試合)を誘致・開催することができます。

〈誘致が可能になると思われる大会／長野県サッカー協会、長野市サッカー協会より〉 注：人工芝2面があるものと想定

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 1種(社会人・大学生年代)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国社会人サッカー選手権大会北信越大会</li> <li>・全国地域サッカーチャンピオンズ大会(予選・決勝)</li> <li>・全国クラブチームサッカー選手権大会北信越大会 等</li> </ul> </li> <li>◆ 2種(高校生年代)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターハイ北信越予選 等</li> </ul> </li> <li>◆ 女子               <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャノンガールズEIT JFA 地域ガールズEIT(U-12)サッカー大会 等</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 3種(中学生年代)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・高円宮杯全日本U-15 サッカー選手権大会</li> <li>・高円宮杯全日本U-15 サッカー選手権大会北信越大会</li> <li>・U-13 地域サッカーリーグ</li> <li>・日本クラブユース選手権U-15 北信越大会 等</li> </ul> </li> <li>◆ 4種(小学生年代)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・全日本U-12 サッカー選手権大会</li> <li>・全日本U-12 サッカー選手権大会長野県予選大会 等</li> </ul> </li> </ul> |
|--|---|

## ■ 経済効果の創出

誘致が可能になる主な大会について、概要は次のとおりです。

大会名	区分	参加チーム数	参加者数	会期
全国地域サッカーチャンピオンズ大会(予選・決勝)	1種 (社会人年代)	予選12チーム 決勝4チーム	約288人 約96人	予選3日間 決勝5日間
高円宮杯全日本U-15サッカー選手権大会 (1回戦～準々決勝)	3種 (中学生年代)	16チーム (全体32チーム)	約368人 (736人中)	3日間
全日本U-12サッカー選手権大会	4種 (小学生年代)	48チーム	約960人	4日間
カンガールズEIT JFA北信越がールズEIT(U-12)サッカー大会	女子	8チーム	約184人	2日間

大会の開催にあたり、選手等の参加者以外にも、観戦のため宿泊する関係者(特に高校生以下の年代は保護者)も多く、市内へ一定の経済効果を与えることとなります。また、大会によっては地元への経済効果を考慮し、開催自治体への宿泊を参加の要件としているものもあります。

なお、これら北信越以上や全国規模の大会は、3～4チームのグループリーグで予選ラウンド(3～4グループ)を行い、その後決勝ラウンドとなるため、2面～3面のグラウンドが同時に使用<sup>※</sup>でき、クラブハウス(更衣室・シャワー等)が4チーム～6チーム分あることが開催の前提条件となります。また、芝生のコンディション悪化のおそれがなく、1日の試合数を制限する必要のない人工芝グラウンドを会場とすることが多くなっています。

※ 4種(小学生年代)の競技フィールドの大きさは半分のため、4～6面の設置が可能

## ■ 長野Uスタジアム及び南長野運動公園の課題解消

フットボール場の整備により、長野Uスタジアム課題の課題を解消又は軽減することが可能となります。また、南長野運動公園の近隣にフットボール場を整備した場合には、南長野運動公園の課題についても解消又は軽減することができます。

課題	内容	課題解消・軽減の方法
使用頻度の高さ	市内に更衣室、運営諸室、観客席等の設備を有する施設がなく、大会等が集中	一定の設備を有するフットボール場を整備して大会等を分散
(長野Uスタジアムへの)大会等誘致・開催	開催条件に定められる参加チームの練習会場がない	一定の設備を有するフットボール場を整備して使用

以下は南長野運動公園の近隣に整備した場合に解消・軽減できる課題

課題	内容	課題解消・軽減の方法
圃場の不足	500㎡～1,000㎡の芝生圃場が不足	フットボール場内に芝生の圃場を整備
駐車場の不足	複数の施設で大会等が行われる休日(週末)における慢性的な駐車場不足	フットボール場と併せ駐車場を整備
その他(井水の水質改善)	芝生の散水等に使用している井水に鉄分が多く、機材や芝生の生育に悪影響を与えている	フットボール場の整備と併せて井戸を掘削し、Uスタジアムにも使用

## ■ AC長野パルセイロ トップチームのJ1ライセンス取得

本市をホームタウンとするAC長野パルセイロ トップチームは、Jリーグクラブライセンス交付規則の「施設基準」のうち、トレーニング施設(練習ピッチ、クラブハウス)の要件を充足していないため、J1クラブライセンスを取得することができません。このため、J2に昇格した場合、<sup>39</sup>“J1を目指して戦う”ことができない状態です。

### 〈Jリーグクラブライセンス交付規則 第9章施設基準 (抜粋)〉

(2) ライセンス申請者は、年間を通じてライセンス申請者専用のもしくはライセンス申請者が優先的に利用できる、以下の各号に定める設備を備えたトレーニング施設を有していなければならない。

なお、当該設備のうちいずれか1つでも充足していない場合には、J1クラブライセンスは交付されない。

- ① クラブハウスに隣接した常時使用できるフルサイズの天然芝もしくはJリーグが認めたハイブリッド芝のピッチ1面
- ② 前号のピッチを観覧できるエリア。ただし、一般客およびメディアそれぞれのために設けられているものとする
- ③ 以下の設備を備えたクラブハウス
  - イ. トレーニングジム
  - ロ. トップチーム用の更衣室 (トップチームの選手全員が使用可能な数のロッカー、8基程度のシャワー、トイレを備えていること)
  - ハ. ビジターチーム用の更衣室
  - ニ. メディカルケアスペース (マッサージ台2台、ベッド、担架、AED、冷蔵庫、製氷機を備えていること)
  - ホ. トップチームの選手、コーチ、チームスタッフ全員が収容可能なミーティングルーム (映像再生装置が使用可能であること)
  - ヘ. メディアからの取材に対応するスペース
  - ト. メディアが作業できるスペース (ハ.のスペースとは別であること)
  - チ. 駐車場 (クラブ関係者、メディア、一般利用者それぞれのために用意されていること)

クラブハウスの規定については、国民スポーツ大会の施設基準と重複するものが多いため、Jリーグクラブライセンス交付規則も満たすフットボール場を整備し、AC長野パルセイロが利用することにより、J1クラブライセンスを取得することが可能です。

なお、AC長野パルセイロの専有又は優先的利用になってしまう施設<sup>\*</sup>については、同クラブを含めた民間事業者による整備の検討が必要です。

<sup>\*</sup>Jリーグクラブライセンス交付規則から天然芝ピッチ1面とクラブハウスが想定される

## ■ 地域密着型プロスポーツチームとの連携強化による地域活性化

本市はこれまで地域密着型プロスポーツチームであるAC長野パルセイロと連携し、以下のような取組みを行ってきました。

### ● 地域連携事業

- ・出張スポーツ交流事業 - 幼稚園、保育園、小学校に出向いてのスポーツプログラム実施(年間約70件)
- ・スタジアム交流事業 - 未就学児、小学生を対象に長野Uスタジアムでスポーツプログラム実施
- ・その他 - シティプロモーションへの協力、市内小中学生のホームゲーム無料招待 等

### ● 長野市からチームへの支援

- ・ホームタウンながの活性化事業 - 市民ホームタウンデーの開催、応援バス事業 等
- ・出資金10,000千円の出資 - 他の民間事業者3社と並ぶ筆頭株主

● 包括連携協定の締結

- ・平成 28(2016)年 3月 20日 長野市、長野商工会議所、AC長野パルセイロの3者により、スポーツの振興やシティプロモーション、地域の活性化等について連携して取り組むため「長野市ホームタウン包括連携協定」を締結した。

AC長野パルセイロと連携してフットボール場を整備することにより、安定した練習環境の確保やチーム力の向上※などの支援につながる事が期待されます。また、各種交流事業による市民との交流の機会が増えることが期待されます。

※練習環境の良し悪しが選手移籍の条件となることがあるため有望な選手の獲得にもつながる

〈第二次長野市スポーツ推進計画（抜粋）〉

施策2-2 地域密着型プロスポーツチームとの連携

地域密着型プロスポーツチームとの連携・協力により、スポーツの振興及び地域の活性化を図ります。

(1) AC長野パルセイロとの連携

AC長野パルセイロを地域の資源ととらえ、連携することにより、スポーツ文化の定着を図り、スポーツを通じた地域振興を進めます。

①「長野市ホームタウン包括連携協定」による地域振興

長野市、長野商工会議所、AC長野パルセイロの3者による「長野市ホームタウン包括連携協定」の締結に基づき、スポーツを通じた情報発信やスポーツ振興を進めます。

〈主な取組〉

- スポーツ交流事業の実施
- アウェイツーリズムによる交流人口の拡大
- 長野市ホームタウンデーの開催等による長野市の情報発信
- 市内のチームへのコーチ派遣や教室の開催

〈AC長野パルセイロ トップチーム ホームゲーム入場者数の推移〉

項目	年	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31/R1)	2020* (R2)
所属リーグ		J3	J3	J3	J3	J3
ホームゲーム入場者数		75,274	68,095	56,869	51,006	41,629
ホームゲーム数		15	16	16	17	17 (うち無観客1試合)
ホームゲーム1試合あたり平均入場者数		5,018	4,256	3,554	3,000	2,602
所属リーグ内平均入場者数順位		2位	3位	3位	4位	2位
所属リーグ1試合あたり平均入場者数		2,957	2,613	2,491	2,396	1,140
リーグ成績		3位	5位	10位	9位	3位

〈参考：上位カテゴリー（J1・J2）の平均入場者数〉

J1リーグ1試合平均入場者数	17,968 (2部制)	18,883	19,064	20,751	5,796
J2リーグ1試合平均入場者数	6,946	6,970	7,049	7,176	2,753

※2020年は新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けている

- ・所属リーグ内では常に上位の平均入場者数となっており、J2又はJ1への昇格した場合、さらに多くの入場者が見込まれます。

〈AC長野パルセイロ レディース ホームゲーム入場者数の推移〉

年	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31/R1)	2020* (R2)
所属リーグ	なでしこリーグ 1部	なでしこリーグ 1部	なでしこリーグ 1部	なでしこリーグ 1部	なでしこリーグ 2部
ホームゲーム入場者数 (なでしこリーグカップを含む)	42,540	33,058	28,044	20,450	7,294
ホームゲーム数 (なでしこリーグカップを含む)	13	13	13	13	9 (うち無観客1試合)
ホームゲーム1試合あたり平均入場者数	3,272	2,543	2,157	1,573	912
所属リーグ内平均入場者数順位	<b>1位</b>	<b>1位</b>	<b>1位</b>	2位	<b>1位</b> (1部・2部(全体)3位)
所属リーグ1試合あたり平均入場者数	1,561	1,364	1,268	1,219	354
所属リーグ成績	3位	6位	7位	9位	5位

※2020年は新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けている

- ・なでしこリーグ内では常にトップクラスの平均入場者数となっており、平成27(2015)年5月28に行われたなでしこジャパン対イタリア代表戦では、女子A代表(なでしこジャパン)の試合史上初のチケット完売となるなど、本市における女子サッカーの人気のうかがえます。
- ・今年から創設された女子サッカーの国内トップリーグである日本女子プロサッカーリーグ、略称WEリーグ※への参戦が決定しており、地元出身の選手も活躍していることから、今後も高い人気を維持していくものと思われます。※ Women Empowerment League の略。令和3(2021)年9月12日開幕。



ホームゲームの観客席



長野Uスタジアムを使ったサッカー教室



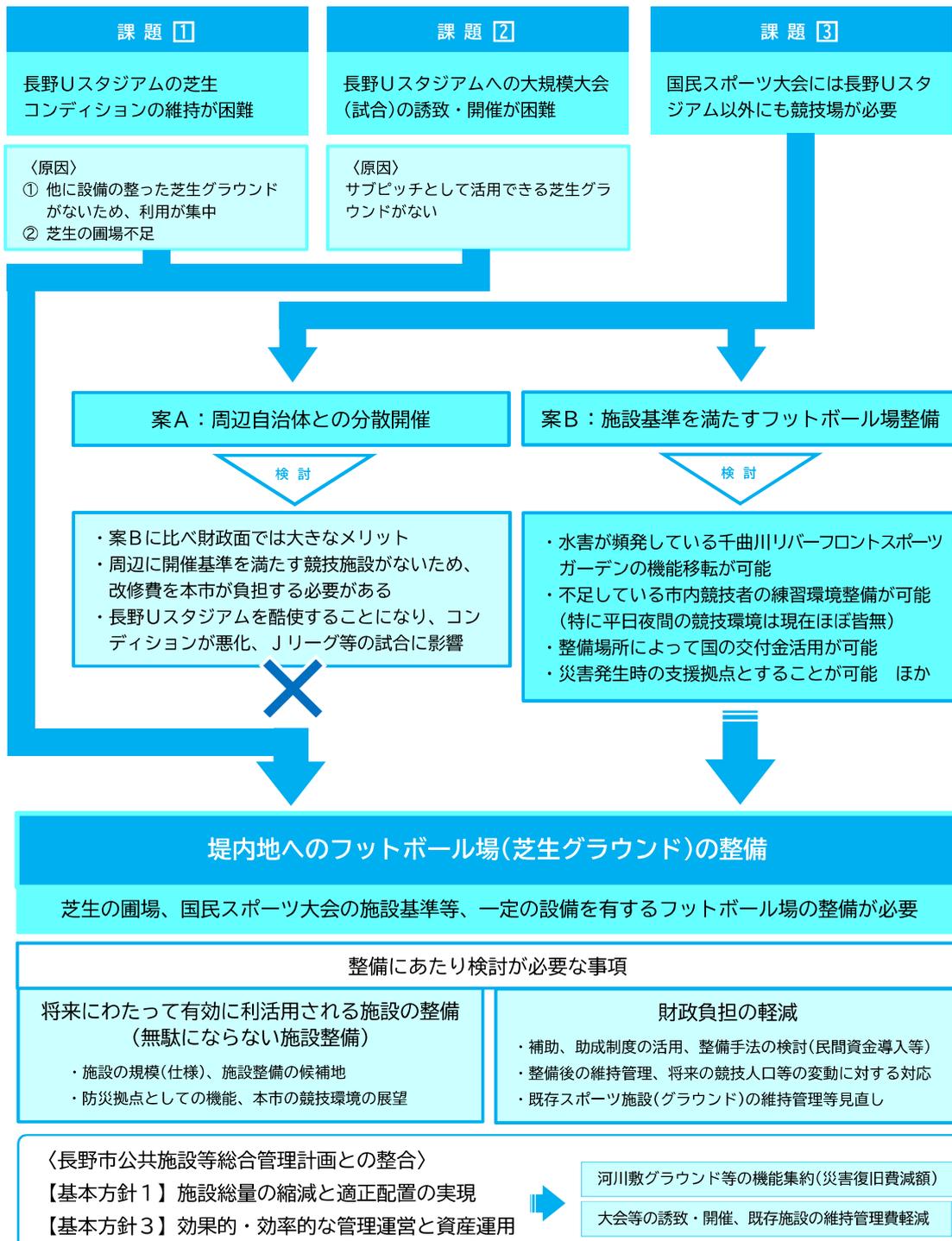
長野市役所第一庁舎のチーム応援装飾

案A「周辺自治体との分散開催」と案B「フットボール場の整備」の比較

		案A	案B
国民スポーツ大会 成年女子サッカー競技の開催		他自治体と分散開催	長野市単独開催
フットボール場の整備		整備しない	整備する
■ スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>千曲川リバーフロントスポーツガーデンの機能移転</li> <li>市内競技者の練習環境整備</li> </ul>	×	○
■ 財政負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備の場合、多額の財政負担</li> <li>支出：用地取得費、建設費</li> <li>収入：社会資本整備総合交付金 ※国民スポーツ大会は重点配分</li> </ul>	○	× 整備場所によっては 国庫補助使用不可
■ 災害に強い施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>水害の影響を受けづらい競技施設確保</li> <li>大規模災害時の防災拠点としての機能</li> </ul>	×	○
■ 大規模大会(試合)の誘致・開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催の条件を満たす施設の確保</li> <li>宿泊を伴う参加者の多い大会の誘致</li> <li>Uスタジアム開催試合の練習会場確保</li> </ul>	×	○
■ 経済効果の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模大会(試合)参加者による消費額による市内への経済効果</li> <li>高校生以下の年代の大会は参加者だけでなく保護者等の消費額も見込まれる</li> </ul>	×	○
■ 長野Uスタジアム及び南長野運動公園の課題解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野Uスタジアムの使用頻度の高さ、芝生の圃場・駐車場不足、その他の課題解消・軽減</li> </ul>	×	○ ただし整備場所により 解消・軽減できる課題 が異なる
■ AC長野パルセイロ トップチームのJ1ライセンス取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブライセンス交付規則を満たす施設整備によるライセンス取得</li> <li>AC長野パルセイロの優先利用にあたり整備手法の検討が必要</li> </ul>	×	○
■ 地域密着型プロスポーツチームとの連携強化による地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの取組みの連携強化</li> <li>AC長野パルセイロのチーム力向上、活躍による地域活性化</li> </ul>	×	○

(3) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会施設整備計画における方針（案）

これまでの検討の結果から、堤内地にサッカー、ラグビー、アメリカンフットボール等に利用するためのフットボール場(芝生グラウンド)を整備し、長野Uスタジアムの抱える課題だけでなく、南長野運動公園や本市のサッカー等の競技を取り巻く課題を解消又は軽減することが必要と考えられます。また、整備にあたっては、将来にわたって市民等に有効に利活用され、可能な限り本市の財政負担軽減を図ることができるよう検討した上で、整備するフットボール場の規模(仕様)、整備場所等を決定することが必要と思われまます。



1 課題解消の方法（手段）

(1) 課題の整理

19 ページで挙げた課題は以下のとおりです。

- 休日(週末)における慢性的な駐車場不足  
→ 周辺への迷惑のほか、試合・大会運営にも支障

(2) 課題解消のために考えられる方法(手段)

南長野運動公園には第1から第4まで、4つの駐車場がありますが、複数の大会等が行われる際には駐車場が足りず、周辺の商業施設や住宅地への迷惑駐車や交通渋滞が発生しています。

特にJリーグのシーズン中は、一番広い(=駐車台数の多い)第1駐車場が試合運営のために使用されるため、他の施設利用者の車両を停める駐車場が不足し、周辺への影響が発生する状況となっています。

■ 南長野運動公園駐車場図(駐車可能台数)



駐車可能台数(公園全体)  
約1,318台

※長野Uスタジアム内の駐車台数は含まない

## ■ 南長野運動公園 駐車場の現状

駐車場	駐車台数内訳			現 状	
	普通車	大型車	身障者	駐車車両の主な区分	駐車場不足時の課題
第1 駐車場	853	12	8	長野Uスタジアム、長野オリンピックスタジアム観覧者の車両	試合・大会時に駐車許可証などで駐車車両を制限する必要あり
第2 駐車場	201	—	3	テニスコート、体育館利用者や観覧者の車両	テニスコート、体育館利用者用として駐車台数が不足
第3 駐車場	156	(24)	3	ゲートボール場、相撲場、芝生広場等利用者の車両	第1・2 駐車場に停められない車両が駐車し、満車状態になる
第4 駐車場	100	(18)	2	相撲場、芝生広場等利用者の車両	第1・2 駐車場に停められない車両が駐車し、満車状態になる

- ・ 第1 駐車場は長野Uスタジアム改修に合わせて拡張を行いました。長野Uスタジアムや長野オリンピックスタジアムの観覧者の車両をすべて駐車することはできないため、大規模な試合(大会)の開催時には、駐車許可証などで車両のコントロールを行う必要があります。また、長野Uスタジアムと長野オリンピックスタジアムの両方で試合(大会)が開催される際は、第1 駐車場のコントロールが非常に困難な状態となります。
- ・ 第2 駐車場は、テニスコートや体育館で試合(大会)が開催される際、もともと駐車台数が不足しているため、他の駐車場も利用しています。このため、長野Uスタジアムや長野オリンピックスタジアムで大規模な試合(大会)が開催され、第1 駐車場が利用できなくなると、第3 及び第4 駐車場に車両を停めるため、公園全体の駐車場が飽和状態となります。
- ・ 以上のことから、第1 及び第2 駐車場それぞれの機能を補完できるような駐車場を整備する必要があります。

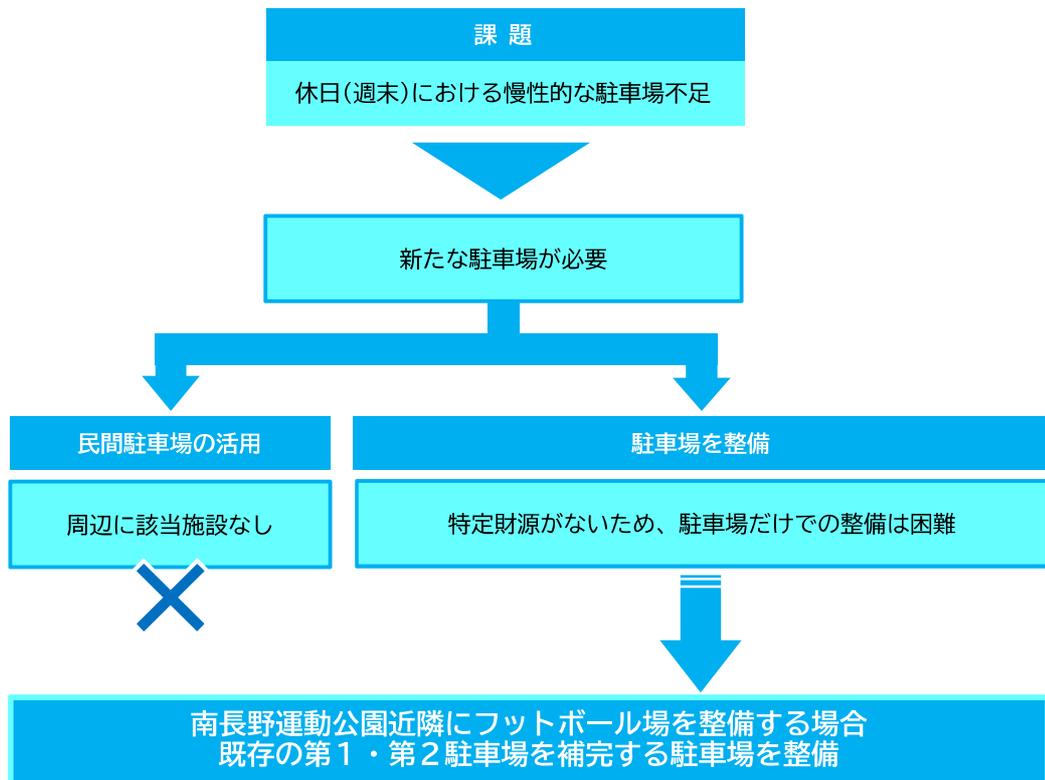


南長野運動公園 第1 駐車場

(3) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会施設整備計画における方針（案）

南長野運動公園の周辺は農地が多く、近隣に民営の駐車場はないため、駐車場を確保するためには新たに公園内や隣接地に整備する必要がありますが、長野Uスタジアム整備の際、国からの交付金を受けて大規模な駐車場改修を行っています。従って、近年中に国から交付金を受けての駐車場整備は困難です。このため、南長野運動公園にフットボール場を整備する場合、駐車場を公園全体のものとして利用しやすいよう整備し、現在の第1駐車場及び第2駐車場それぞれの機能を補完できるようにする必要があります。

なお、整備内容や財政負担の軽減の検討、長野市公共施設等総合管理計画との整合については、フットボール場の整備に準ずるものとします。



※以下はフットボール場の整備に準ずる

整備にあたり検討が必要な事項	
<b>将来にわたって有効に利活用される施設の整備 (無駄にならない施設整備)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の規模(仕様)、施設整備の候補地</li> <li>防災拠点としての機能、本市の競技環境の展望</li> </ul>	<b>財政負担の軽減</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助、助成制度の活用、整備手法の検討(民間資金導入等)</li> <li>整備後の維持管理、将来の競技人口等の変動に対する対応</li> <li>既存スポーツ施設(グラウンド)の維持管理等見直し</li> </ul>
<b>〈長野市公共施設等総合管理計画との整合〉</b> <b>【基本方針1】施設総量の縮減と適正配置の実現</b> <b>【基本方針3】効果的・効率的な管理運営と資産運用</b>	
	河川敷グラウンド等の機能集約(災害復旧費減額) 大会等の誘致・開催、既存施設の維持管理費軽減

